

参考資料1 第3期環境計画に基づく「市の取り組み」実績一覧

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
I 低炭素社会 1) 温室効果ガスの削減 ①行政施策 (環境計画P. 32)			
・普及啓発や設備導入の支援など省エネルギー、新エネルギーの利用を促進する。	温室効果ガスの削減に向け、家庭における「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」によるスマートなエネルギー利用に資する設備の導入に対し「四日市市スマートシティ構築促進補助金」を交付しました(1件あたり:太陽光発電設備3万円、燃料電池設備3万円、蓄電池設備5万円、エネルギー管理システム(HEMS)1万円)。 [応募件数347件 補助件数338件](環境保全課) <実績額9,350千円>	温室効果ガスの削減に向け、家庭における「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」によるスマートなエネルギー利用に資する設備の導入に対し「四日市市スマートシティ構築促進補助金」を交付しました(1件あたり:太陽光発電設備3万円、燃料電池設備3万円、蓄電池設備5万円、エネルギー管理システム(HEMS)1万円)。 [応募件数421件 補助件数408件](環境保全課) <実績額12,520千円>	温室効果ガスの削減に向け、家庭における「創エネ」「省エネ」「蓄エネ」によるスマートなエネルギー利用に資する設備の導入に対し「四日市市スマートシティ構築促進補助金」を交付しました(1件あたり:太陽光発電設備3万円、燃料電池設備3万円、蓄電池設備5万円、エネルギー管理システム(HEMS)1万円、電気自動車等充給電設備(V2H)5万円)。 [応募件数532件 補助件数525件](環境保全課) <実績額16,310千円>
	「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」や「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づき、省エネルギー性を含む一定の基準を満たした建築物を認定し、固定資産税等の優遇措置のメリットを活かして、環境への負荷が低減される長期優良住宅及び低炭素住宅の普及の促進に努めました。 [平成30年度認定(新規)件数 592件(長期優良住宅)、17件(低炭素住宅)](建築指導課)	「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」や「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づき、省エネルギー性を含む一定の基準を満たした建築物を認定し、固定資産税等の優遇措置のメリットを活かして、環境への負荷が低減される長期優良住宅及び低炭素住宅の普及の促進に努めました。 [令和元年度認定(新規)件数 535件(長期優良住宅)、11件(低炭素住宅)](建築指導課)	「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」や「都市の低炭素化の促進に関する法律」に基づき、省エネルギー性を含む一定の基準を満たした建築物を認定し、固定資産税等の優遇措置のメリットを活かして、環境への負荷が低減される長期優良住宅及び低炭素住宅の普及の促進に努めました。 [令和2年度認定(新規)件数 543件(長期優良住宅)、7件(低炭素住宅)](建築指導課)
	クールチョイスについて、広報よっかいち(6月上旬号)で紹介しました。(広報マーケティング課)	—	地球温暖化対策について、広報よっかいち(6月上旬号)で紹介しました。(広報マーケティング課)
	クールチョイスについて、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」(11月11日～20日放送)で紹介しました。(広報マーケティング課)	—	—
	—	—	国が推進する国民運動「クールチョイス(賢い選択)」について、令和2年度は新たに消費者のつどいでの展示、ごみ収集日程表、市ホームページにおける毎月の啓発記事掲載などにより周知、普及啓発を図りました。(環境保全課)
地球温暖化対策には市民や事業者の理解と自発的な行動が極めて重要なことから、「クールチョイス」に賛同する企業・団体を広く募るとともに、連携したイベント等を実施し、地球温暖化防止の意識向上を図りました。[賛同者実績 個人:452名 企業:94名 団体:2名](環境保全課) <実績額2,997千円>	地球温暖化対策には市民や事業者の理解と自発的な行動が極めて重要なことから、「クールチョイス」に賛同する個人や企業、団体を募りました。[賛同者実績 個人:231名 企業:23名](環境保全課)	地球温暖化対策には市民や事業者の理解と自発的な行動が極めて重要なことから、スマートシティ構築促進補助金申請者に「クールチョイス」の賛同を求めました。[賛同者実績 個人:275名](環境保全課)	

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・中小企業等の省エネルギー診断受診を促進する。	「平成30年度四日市市中小企業省エネルギー設備更新等事業費補助金」を交付しました。温室効果ガス排出量の削減を推進するため、市内で事業を営む中小企業等が行う省エネルギー診断、省エネルギー設備の更新及び導入に要する経費の一部を補助しました。[応募件数36件 補助件数36件](環境保全課) ＜実績額:27,438千円＞	「平成31年度四日市市中小企業省エネルギー設備更新等事業費補助金」を交付しました。温室効果ガス排出量の削減を推進するため、市内で事業を営む中小企業等が行う省エネルギー診断、省エネルギー設備の更新及び導入に要する経費の一部を補助しました。[応募件数23件 補助件数23件](環境保全課) ＜実績額:10,587千円＞	「四日市市中小企業省エネルギー設備更新等事業費補助金」については、省エネ法に基づくトップランナー方式により導入される省エネ機器の性能が大幅に向上してきたことから、段階的に補助内容を縮小し、令和元年度末をもって終了しました。(環境保全課)
・自治会が管理する防犯外灯のLED化を促進する。	(公財)四日市市文化まちづくり財団が行う、自治会への防犯外灯新設維持費補助事業に補助金を支出することにより、地域における防犯外灯の整備・充実に努めました。(市民協働安全課) ＜実績額:29,555千円＞	(公財)四日市市文化まちづくり財団が行う、自治会への防犯外灯新設維持費補助事業に補助金を支出することにより、地域における防犯外灯の整備・充実に努めました。(市民協働安全課) ＜実績額:19,840千円＞	(公財)四日市市文化まちづくり財団が行う、自治会への防犯外灯新設維持費補助事業に補助金を支出することにより、地域における防犯外灯の整備・充実に努めました。(市民協働安全課) ＜実績額:16,013千円＞
・「自転車の日」を定めるなど、自転車の利用を促進する。	—	—	—
・公共交通機関の利用を促進する。	神前地区自主運行バスの利用促進のため、まちづくり推進委員会バスプロジェクトとともにバス応援企画事業を実施し、37名の参加がありました。(神前地区市民センター)	神前地区自主運行バスの利用促進のため、まちづくり推進委員会バスプロジェクトとともにバス応援企画事業を実施し、18名の参加がありました。(神前地区市民センター)	神前地区自主運行バスの利用促進のため、まちづくり推進委員会バスプロジェクトとともにバス応援企画事業を実施し、14名の参加がありました。(神前地区市民センター)
	「JR四日市駅周辺活性化事業」を行いました。JR四日市駅周辺に案内板を2基設置しました。(道路整備課) ＜実績額:3,089千円＞	「JR四日市駅周辺活性化事業」を行いました。稲葉翁記念公園に案内板を2基設置しました。(道路整備課) ＜実績額:3,806千円＞	「JR四日市駅周辺活性化事業」を行いました。千歳橋や国道164号に案内板を3基設置しました。(道路建設課) ＜実績額:6,290千円＞
	「総合交通戦略推進事業」持続可能な交通環境の実現に取り組むため、平成23年度に策定した「四日市市都市総合交通戦略」に記載した事業の促進を図るため、戦略協議会を開催して各者で意識と情報の共有を図るとともに、課としても事業の進捗に取り組みました。(都市計画課) ＜実績額:3,277千円＞	「総合交通戦略推進事業」持続可能な交通環境の実現に取り組むため、平成23年度に策定した「四日市市都市総合交通戦略」に記載した事業の促進を図るため、戦略協議会を開催して各者で意識と情報の共有を図るとともに、課としても事業の進捗に取り組みました。(都市計画課) ＜実績額:11,664千円＞	「総合交通戦略推進事業」持続可能な交通環境の実現に取り組むため、平成23年度に策定した「四日市市都市総合交通戦略」に記載した事業の促進を図るため、戦略協議会を開催して各者で意識と情報の共有を図るとともに、課としても事業の進捗に取り組みました。(都市計画課) ＜実績額:27,501千円＞

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	「バス利用環境改善整備事業」公共交通空白地域における交通手段確保のため、自主運行バス3路線の運行を行いました。また、公共交通不便地域で、デマンド交通が成立するか検証するため、タクシ協会等の協力を得て、タクシー車両を活用したデマンド交通の社会実験を実施しました。(都市計画課) <実績額:43,656千円>	「バス利用環境改善整備事業」公共交通空白地域における交通手段確保のため、自主運行バス3路線の運行を行った他、利便性向上を図るため、大規模商業施設の敷地内にバス待合所を整備し、自主運行バス路線の運行ダイヤや経路の見直しを行いました。また、公共交通不便地域で、デマンド交通が成立するか検証するため、タクシ協会等の協力を得て、タクシー車両を活用したデマンド交通の社会実験を実施しました。(都市計画課) <実績額:52,942千円>	公共交通空白地域における交通手段確保のため、自主運行バス3路線の運行を行った他、利便性向上を図るため、引き続き、大規模商業施設内に乗り入れ、整備したバス待合所(乗り継ぎ拠点)の活用を図りました。また、公共交通不便地域の移動手段を確保するため、デマンド交通導入に向け、関係者と調整を進めました。(都市計画課) <実績額:42,153千円>
	「コミュニティバス支援事業」NPOが主体となって運行するバスへの支援を実施しました。(都市計画課) <実績額:5,130千円>	「コミュニティバス支援事業」NPOが主体となって運行するバスへの支援を実施しました。(都市計画課) <実績額:5,178千円>	「コミュニティバス支援事業」NPOが主体となって運行するバスへの支援を実施しました。(都市計画課) <実績額:5,226千円>
	四日市あすなろう鉄道線について、列車の安全運行を図るため、老朽化した車両等の更新を行った他、利用促進に係るグッズの製作やイベントを実施し、公共交通機関の利用を促しました。(都市計画課) <実績額:529,294千円>	四日市あすなろう鉄道線について、列車の安全運行を図るため、老朽化した施設更新を行った他、利用促進に係るグッズの製作やイベントを実施し、公共交通機関の利用を促しました。(都市計画課) <実績額:217,577千円>	四日市あすなろう鉄道線について、列車の安全運行を図るため、老朽化した施設更新を行った他、利用促進に係るイベントに協力し、公共交通機関の利用を促しました。(都市計画課) <実績額:363,407千円>
	催し物のチラシ及び地区広報には必ず「公共交通機関の利用をお願いします」と記載し公共交通機関の利用を促しました。(中部地区市民センター)	催し物のチラシ及び地区広報には必ず「公共交通機関の利用をお願いします」と記載し公共交通機関の利用を促しました。(中部地区市民センター)	催し物のチラシ及び地区広報には必ず「公共交通機関の利用をお願いします」と記載し公共交通機関の利用を促しました。(中部地区市民センター)
	住民が主体となって地域における公共交通のあり方を検討するため、地区住民や関係者が参画して運営する持続可能なコミュニティバス等の導入について研究を行い、先進事例の講演や乗車体験、住民アンケート、及び貸切りバスによる検討運行ルート走行実験などを実施した。(八郷地区市民センター)	—	—
	公共交通の利用促進について、広報よっかいち(3月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)	—	公共交通の利用促進について、広報よっかいち(2月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)
	神前高角線のダイヤ改正(平成30年10月1日)に合わせて、「ダイヤ(時刻表)が使いやすく変わりました! みんなで利用してね!! 高角駅~近鉄四日市駅 自主運行バス」ステッカー及びシールを作成し、イベント等において配布。また地区広報に同デザインを毎号掲載し、自主運行バスの周知、利用を促しました。(神前地区市民センター)	地区広報に自主運行バスの周知を図るためデザイン等を掲載して、利用を促進しました。(神前地区市民センター)	—

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・エコドライブを促進する。	職員へのエコドライブの周知、奨励を行いました。(市民文化部、障害福祉課)	職員へのエコドライブの周知、奨励を行いました。(市民文化部)	職員へのエコドライブの周知、奨励を行いました。(市民文化部、障害福祉課)
	職員に対し、急発進や急加速などの「急」が付く運転を行わないよう啓発に努めました。(八郷地区市民センター)	職員に対し、急発進や急加速などの「急」が付く運転を行わないよう啓発に努めました。(市民文化部)	職員に対し、急発進や急加速などの「急」が付く運転を行わないよう啓発に努めました。(市民文化部)
	—	—	市内自動車学校にクールチョイス(賢い選択)における環境に配慮した運転「エコドライブ」啓発の協力を依頼しました。(環境保全課)
・低公害車の導入を支援する。	—	—	—
・歩行空間や自転車利用のための環境整備を進める。	自動車に頼らず歩いて暮らせるまちの実現や中心市街地の活性化と観光の促進につなげることを目的としたレンタサイクル事業を実施しました。管理運営は市営の自転車等駐車場とともに指定管理者が効率的に行いました。(道路管理課)	自動車に頼らず歩いて暮らせるまちの実現や中心市街地の活性化と観光の促進につなげることを目的としたレンタサイクル事業を実施しました。管理運営は市営の自転車等駐車場とともに指定管理者が効率的に行いました。(道路管理課)	自動車に頼らず歩いて暮らせるまちの実現や中心市街地の活性化と観光の促進につなげることを目的としたレンタサイクル事業を実施しました。管理運営は市営の自転車等駐車場とともに指定管理者が効率的に行いました。(道路管理課)
	「交通安全施設整備事業」において、歩行者の安全に配慮した整備や自転車利用者のための整備を行いました。(道路整備課) <実績額:72,381千円>	「交通安全施設整備事業」において、歩行者の安全に配慮した整備や自転車利用者のための整備を行いました。(道路整備課) <実績額65,022:千円>	「交通安全施設整備事業」において、歩行者の安全に配慮した整備や自転車利用者のための整備を行いました。(道路建設課・道路維持課) <実績額455,078:千円>
	まちづくり構想の中にサイクリングロードの整備を盛り込んでおり、サイクリングロードの利便性を向上させるため、28年度より推奨するコース上に標示看板を設置、整備を順次進め、平成30年度にコース全域の設置が完了しました。(八郷地区市民センター)	—	—
・コンパクトシティに向けた取り組みを進める。	スマートシティ構想の実現に向けて、スマートシティにつながる創エネ、蓄エネ、省エネ技術の調査を行い、それらの技術の本市の中心市街地における導入可能性を検討するとともに、スマートシティ構築を目指した具体的な施策を検討した。(環境保全課) <実績額:2,966千円>	—	—
・カーボンオフセットなど省エネルギー・省CO <sub>2</sub> を実施しやすい環境づくりを進める。	—	—	「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」(略称ZEH[ゼッチ])の推進をテーマとして、調査やプラットフォーム会議を実施し、市民が利用しやすいZEH補助の制度を構築しました(令和3年度から補助金募集)。(環境保全課) <実績額:990千円>

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・メタンなど二酸化炭素以外の温室効果ガス排出削減対策を進める。	—	—	所管施設の空調設備を更新する際、地球温暖化対策として代替えフロンに切替えた。(健康福祉課、社会福祉協議会)
<b>I 低炭素社会 1) 温室効果ガスの削減 ②意識や行動面(一事業者として) (環境計画P. 32)</b>			
・YESやグリーン購入などの方針に基づき省エネルギー・省資源を進める。	YESに基づき、各課毎に年度当初に「環境活動計画表」を策定し、省エネルギー・省資源に努めています。(全庁)	YESに基づき、各課毎に年度当初に「環境活動計画表」を策定し、省エネルギー・省資源に努めています。(全庁)	YESに基づき、各課毎に年度当初に「環境活動計画表」を策定し、省エネルギー・省資源に努めています。(全庁)
	パソコンに対して、節電の設定を適用しています。また、IT推進員会議(年1回)でパソコン・プリンタ機器の節電方法を周知しました。(IT推進課)	パソコンに対して、節電の設定を適用しています。また、ICT推進員会議(年1回)でパソコン・プリンタ機器の節電方法を周知しました。(ICT戦略課)	パソコンに対して、節電の設定を適用しています。(ICT戦略課)
	パソコンに対して節電の設定を適用するとともに、一定時間以上席を外すときは、ノートパソコンの蓋を閉じるよう努めています。(各地区市民センター)	パソコンに対して節電の設定を適用するとともに、一定時間以上席を外すときは、ノートパソコンの蓋を閉じるよう努めています。(各地区市民センター)	パソコンに対して節電の設定を適用するとともに、一定時間以上席を外すときは、ノートパソコンの蓋を閉じるよう努めています。(各地区市民センター)
	貸館の利用者に対し、照明やエアコンの節電について、張り紙や呼びかけにより協力をお願いしています。(各地区市民センター)	貸館の利用者に対し、照明やエアコンの節電について、張り紙や呼びかけにより協力をお願いしています。(各地区市民センター)	貸館の利用者に対し、照明やエアコンの節電について、張り紙や呼びかけにより協力をお願いしています。(各地区市民センター)
	院内に独自のYES-省エネ推進委員会を設け、エネルギー消費動向、廃棄物排出量状況等を的確に把握し、省エネ・省資源の推進に有効な手段等を検討する会議を年1回開催しました。(市立四日市病院)	院内に独自のYES-省エネ推進委員会を設け、エネルギー消費動向、廃棄物排出量状況等を的確に把握し、省エネ・省資源の推進に有効な手段等を検討する会議を年1回開催しました。(市立四日市病院)	院内に独自のYES-省エネ推進委員会を設け、エネルギー消費動向、廃棄物排出量状況等を的確に把握し、省エネ・省資源の推進に有効な手段等を検討する会議を年1回開催しました。(市立四日市病院)
	物品購入の際にはグリーン購入適合品を選定することを心がけています。(全庁)	物品購入の際にはグリーン購入適合品を選定することを心がけています。(全庁)	物品購入の際にはグリーン購入適合品を選定することを心がけています。(全庁)
	休憩時間を中心に電灯をこまめに消灯するようこころがけました。(障害福祉課)	休憩時間を中心に電灯をこまめに消灯するようこころがけました。(障害福祉課)	休憩時間を中心に電灯をこまめに消灯するようこころがけました。(健康福祉部)
・自動車利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車を利田す	公共交通機関や自転車を利用することを促しています。(全庁)	公共交通機関や自転車を利用することを促しています。(全庁)	公共交通機関や自転車を利用することを促しています。(全庁)
	本庁近隣区域の訪問(金融機関・滞納者宅等)は自動車利用をできるだけ控え、徒歩または自転車の利用に努めました。(収納推進課、保険年金課)	本庁近隣区域の訪問(金融機関・滞納者宅等)は自動車利用をできるだけ控え、徒歩または自転車の利用に努めました。(収納推進課、保険年金課)	本庁近隣区域の訪問(金融機関・滞納者宅等)は自動車利用をできるだけ控え、徒歩または自転車の利用に努めました。(収納推進課、保険年金課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	環境にやさしい自転車をコンセプトにしたサイクル・スポーツ・フェスティバルが開催される地区として、自転車を移動手段として積極的に活用しました。(水沢地区市民センター)	環境にやさしい自転車をコンセプトにしたサイクル・スポーツ・フェスティバルが開催される地区として、自転車を移動手段として積極的に活用しました。(水沢地区市民センター)	令和2年度は中止であったが、サイクルスポーツフェスティバルの開催地区として、移動手段として積極的に自転車を活用しました。(水沢地区市民センター)
	霞ヶ浦地区環境行動推進協議会(KIEP'S)との協働により、公共交通機関、自転車、徒歩や相乗りなど、環境負荷の低い方法でのエコ通勤を年12回実施しました。(環境保全課)	霞ヶ浦地区環境行動推進協議会(KIEP'S)との協働により、公共交通機関、自転車、徒歩や相乗りなど、環境負荷の低い方法でのエコ通勤を年12回実施しました。(環境保全課)	霞ヶ浦地区環境行動推進協議会(KIEP'S)との協働により、公共交通機関、自転車、徒歩や相乗りなど、環境負荷の低い方法でのエコ通勤を年2回実施しました。(環境保全課)
	近距離ならば自転車(電動を含む)の利用を勧めています。(上下水道局総務課)	近距離ならば自転車(電動を含む)の利用を勧めています。(上下水道局総務課)	近距離ならば自転車(電動を含む)の利用を勧めています。(上下水道局総務課)
	近距離の移動は、徒歩あるいは自転車の利用に努めました。(市民文化部)	近距離の移動は、徒歩あるいは自転車の利用に努めました。(市民文化部)	近距離の移動は、徒歩あるいは自転車の利用に努めました。(市民文化部)
・普段からエコドライブに心がける。	公用車の省エネルギー運転など適正利用に努めました。(全庁)	公用車の省エネルギー運転など適正利用に努めました。(全庁)	公用車の省エネルギー運転など適正利用に努めました。(全庁)
	急のつく運転や、アイドリングを抑制し、エコドライブに心がけました。(全庁)	急のつく運転や、アイドリングを抑制し、エコドライブに心がけました。(全庁)	急のつく運転や、アイドリングを抑制し、エコドライブに心がけました。(全庁)
	各署・各課において近隣への立入検査や訓練指導時は、公用車を使用せず、徒歩又は自転車での出向を心がけました。(消防本部)	各署・各課において近隣への立入検査や訓練指導時は、公用車を使用せず、徒歩又は自転車での出向を心がけました。(消防本部)	各署・各課において近隣への立入検査や訓練指導時は、公用車を使用せず、徒歩又は自転車での出向を心がけました。(消防本部)
<b>I 低炭素社会 1) 温室効果ガスの削減 ③ 建物や設備面(一事業者として) (環境計画P. 32)</b>			
・公共施設の省エネルギー診断の受診やESCO事業の導入、機器類の省エネルギー化を進める。	博物館、北大谷斎場が省エネルギー診断を受診しました。(環境保全課)	四日市競輪場、北消防署が省エネルギー診断を受診しました。(環境保全課)	楠体育館が省エネルギー診断を受診しました。(環境保全課)
	平成22年2月に本庁舎東側に設置した太陽光発電駐輪場により、太陽光発電を行っています。(10kw)(管財課)	平成22年2月に本庁舎東側に設置した太陽光発電駐輪場により、太陽光発電を行っています。(10kw)(管財課)	平成22年2月に本庁舎東側に設置した太陽光発電駐輪場により、太陽光発電を行っています。(10kw)(管財課)
	公共建築物の省エネルギー化及び維持管理経費軽減のため、総合会館の照明設備のLED化を行いました。(管財課)	公共建築物の省エネルギー化及び維持管理経費軽減のため、本町プラザの照明設備のLED化を行いました。(管財課)	省エネルギー化及び維持管理経費軽減のため、所管施設の照明設備のLED化を行いました。(高齢福祉課、健康づくり課、社会福祉協議会)
	消防本部・北消防署・西分署・北部・南部の照明器具のLED化により電気代の削減を継続的に実施しております。(消防本部)	消防本部・北消防署・西分署・北部・南部の照明器具のLED化により電気代の削減を継続的に実施しております。(消防本部)	消防本部・北消防署・西分署・北部・南部の照明器具のLED化により電気代の削減を継続的に実施しております。(消防本部)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	ESCO事業契約を締結し、平成31年度からのESCOサービス提供開始に向けた省エネ改修工事を完了しました。(市立四日市病院)〈実績額:209,952千円〉	ESCOサービスの提供を開始し、病院全体として約10%(平成27・28年度の平均値比)のエネルギー使用量の削減を達成しました。(市立四日市病院)〈実績額:コストメリット約1,000千円〉	ESCOサービス提供開始から2年目を迎え、昨年度と同様に病院全体として約10%(平成27・28年度の平均値比)のエネルギー使用量の削減を達成しました。(市立四日市病院)〈実績額:コストメリット約1,400千円〉
	公共建築物の省エネルギー化及び維持管理経費軽減のため、新設した新南五味塚ポンプ場において、LED照明を導入しました。(上下水道局施設課) 〈実績額:3,262千円〉	公共建築物の省エネルギー化及び維持管理経費軽減のため、下水道施設3施設において照明設備のLED化を行いました。(上下水道局施設課) 〈実績額:3,744千円〉	公共建築物の省エネルギー化及び維持管理経費軽減のため、下水道施設2施設において照明設備のLED化を行い、消費電力量を約23kWh削減し、CO2排出量を約9kg削減しました。(上下水道局施設課) 〈事業費:1,726千円〉
	省エネ推進のため、施設4、5階の既設照明設備のLED化を行いました。(あさけプラザ)	省エネ推進のため、昨年度、屋内外の照明のLED化を行いました。(下野地区市民センター) 省エネ推進のため、図書館の既設照明設備のLED化を行いました。(あさけプラザ)	省エネ推進のため、屋内外の照明のLED化を行いました。(四郷地区市民センター、中部地区市民センター)
・太陽光発電システムなどの新エネルギー設備やコージェネレーションシステムなど効率的なエネルギーシステムを導入する。	太陽光発電設備を整備した学校において、自然エネルギーの利用を図りました。(教育施設課)	太陽光発電設備を整備した学校において、自然エネルギーの利用を図りました。(教育施設課)	太陽光発電設備を整備した学校において、自然エネルギーの利用を図りました。(教育施設課)
	「四日市温水プール省エネ事業」四日市温水プールでは、太陽光発電システムを導入しました。[平成30年度の発電量は12,320kWh、CO2削減量は6.36t、売電金額は56,856円となっています。](スポーツ課)	「四日市温水プール省エネ事業」四日市温水プールでは、太陽光発電システムを導入しました。[平成31年度発電量は5,467kWh、CO2削減量は2.82t、売電金額は29,016円となっています。](スポーツ課)	「四日市温水プール省エネ事業」四日市温水プールでは、太陽光発電システムを導入しました。[平成31年度発電量は8024kWh、CO2削減量は4.14t、売電金額は37,416円となっています。](スポーツ課)
	「四日市温水プール省エネ事業」四日市温水プールでは空調熱源システムを導入しました。[平成30年度のCO2削減量は179.71t、また省エネ効果は2,115MJです。](スポーツ課)	「四日市温水プール省エネ事業」四日市温水プールでは空調熱源システムを導入しました。[平成31年度のCO2削減量は173.97t、また省エネ効果は1,999MJです。](スポーツ課)	「四日市温水プール省エネ事業」四日市温水プールでは空調熱源システムを導入しました。[令和2年度のCO2削減量は160.63t、また省エネ効果は481,131kwhです。](スポーツ課)
	—	—	「四日市市総合体育館省エネ事業」四日市市総合体育館では、太陽光発電システムを導入しました。[令和2年度発電量は2054.17kWh、CO2削減量は1.06tとなっています。](スポーツ課)
	施設の改修時には自然エネルギー等の利用が可能な施設となるよう検討します。(消防本部)	施設の改修時には自然エネルギー等の利用が可能な施設となるよう検討します。(消防本部)	令和3年度から改築の南消防署において太陽光発電設備を屋上に設置予定です。(設計済み) 今後も施設の改修時には自然エネルギー等の利用が可能な施設となるよう検討します。(消防本部)
	平成23年11月に太陽光発電パネルを設置し、電力の一部を補うとともに、来館者への啓発を行っています。(5kW)(あさけプラザ)	平成23年11月に太陽光発電パネルを設置し、電力の一部を補うとともに、来館者への啓発を行っています。(5kW)(あさけプラザ)	平成23年11月に太陽光発電パネルを設置し、電力の一部を補うとともに、来館者への啓発を行っています。(5kW)(あさけプラザ)
	—	—	—

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	三重県企業庁水沢浄水場と受水地点である高岡配水池の高低差を利用した、高岡配水池小水力発電所で131万kWh発電し、約619tのCO2を削減しました。(上下水道局施設課)	三重県企業庁水沢浄水場と受水地点である高岡配水池の高低差を利用した、高岡配水池小水力発電所で134万kWh発電し、約634tのCO2を削減しました。(上下水道局施設課)	三重県企業庁水沢浄水場と受水地点である高岡配水池の高低差を利用した、高岡配水池小水力発電所で112万kWh発電し、約474tのCO2を削減しました。(上下水道局施設課)
	四日市市クリーンセンターにおいて、ごみ焼却時の余熱を利用したバイオマス発電により、年間約5,726万kWh発電し、内約3,609万kWhを売電しました。また、施設敷地内の太陽光発電により、48,716kWhを売電しました。(生活環境課)	四日市市クリーンセンターにおいて、ごみ焼却時の余熱を利用したバイオマス発電により、年間約5,972万kWh発電し、内約3,758万kWhを売電しました。また、施設敷地内の太陽光発電により、47,628kWhを売電しました。(生活環境課)	四日市市クリーンセンターにおいて、ごみ焼却時の余熱を利用したバイオマス発電により、年間約5,879万kWh発電し、内約3,697万kWhを売電しました。また、施設敷地内の太陽光発電により、48,386kWhを売電しました。(生活環境課)
・建物の屋上緑化や壁面緑化を行う。	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計80箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計74箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてゴーヤの苗を地区市民センター等の公共施設に配付し、グリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計53箇所](環境保全課・各地区市民センター)
	—	—	今後建て替える農業センターについて、自然エネルギーの利用が可能な施設となるよう検討しました。(農業センター)
・節水、雨水・再生水利用などの効率的な水利用を進める。	雨水貯留タンクを設置し、貯まった雨水をゴーヤや花壇の水やりに利用するなど、効率的な水利用に取り組み、水道使用量が軽減できました。(各地区市民センター)	雨水貯留タンクを設置し、貯まった雨水をゴーヤや花壇の水やりに利用するなど、効率的な水利用に取り組み、水道使用量が軽減できました。(各地区市民センター)	雨水貯留タンクを設置し、貯まった雨水をゴーヤや花壇の水やりに利用するなど、効率的な水利用に取り組み、水道使用量が軽減できました。(各地区市民センター)
	「四日市ドーム屋根雨水利用事業」四日市ドームでは雨水利用を実施しています。[平成30年度、雑排水使用量4,826㎡のうち約77.2%に当たる3,482㎡を雨水で補っています。](スポーツ課)	「四日市ドーム屋根雨水利用事業」四日市ドームでは雨水利用を実施しています。[平成31年度、雑排水使用量4,360㎡のうち約97.0%に当たる4,228㎡を雨水で補っています。](スポーツ課)	「四日市ドーム屋根雨水利用事業」四日市ドームでは雨水利用を実施しています。[令和2年度、雑排水使用量1,730㎡のうち約93.8%に当たる1,623㎡を雨水で補っています。](スポーツ課)
	—	—	「四日市市総合体育館雨水利用事業」四日市市総合体育館では雨水利用を実施しています。[令和2年度、下水使用量3,358㎡のうち約59.5%に当たる1,997㎡を雨水で補っています。](スポーツ課)
	平成29年度に完成した北消防署北部分署には雨水タンクが設置してあります。(消防本部) 平成20年度開署の中消防署中央分署には雨水タンクが設置してあり、屋外トイレの排水は雨水を利用しています。(消防本部)	平成29年度に完成した北消防署北部分署には雨水タンクが設置してあります。(消防本部) 平成20年度開署の中消防署中央分署には雨水タンクが設置してあり、屋外トイレの排水は雨水を利用しています。(消防本部)	平成29年度に完成した北消防署北部分署には雨水タンクが設置してあります。(消防本部)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	当事業は、各家庭において雨水の流出抑制を図っていただくとともに、総合治水対策への普及啓発を目的に、平成24年度から雨水貯留タンクの設置に対し補助を行ってきたが、総合治水に対する一定の普及啓発が図られたこと及び申請件数の減少により、平成29年度をもって終了した。(河川排水課)	平成29年度をもって雨水貯留タンクの設置に対する補助を終了したが、開発許可に関する協議において、雨水の流出抑制を図るため、雨水貯留タンクの設置検討や、雨水浸透施設(浸透枳等)の設置検討を促しました。(河川排水課)	開発許可に関する協議において、雨水の流出抑制を図るため、雨水貯留タンクの設置検討や、雨水浸透施設(浸透枳等)の設置検討を促しました。(河川排水課)
	日永浄化センター放流水を砂濾過し、浮遊物を除去した後、場内機械設備の洗浄水、軸封水、冷却水として再利用しています。(上下水道局施設課)	日永浄化センター放流水を砂濾過し、浮遊物を除去した後、場内機械設備の洗浄水、軸封水、冷却水として再利用しています。(上下水道局施設課)	日永浄化センター放流水を砂濾過し、浮遊物を除去した後、場内機械設備の洗浄水、軸封水、冷却水として再利用しています。(上下水道局施設課)
	一元管理公用車の稼働率は、87.6%でした。引き続き、より効果的な利用と保有台数の適正化を図っています。(管財課)	コロナウイルスの影響で一元管理公用車の稼働率は、前年度比で1.1%減の86.5%でした。引き続き、より効果的な利用と保有台数の適正化を図っています。(管財課)	コロナウイルスの影響で一元管理公用車の稼働率は、前年度比で6.5ポイント減の80%でした。引き続き、より効果的な利用と保有台数の適正化を図っています。(管財課)
・保有自動車台数を適正化し、効果的な利用を心がける。	排気ガスによる大気汚染を防ぐため、北部、南部両事業所に車両管理者を配属し、収集車両が常に良好な状態となるよう努めました。(生活環境課)	排気ガスによる大気汚染を防ぐため、北部、南部両事業所に車両管理者を配属し、収集車両が常に良好な状態となるよう努めました。(生活環境課)	排気ガスによる大気汚染を防ぐため、北部、南部両事業所に車両管理者を配属し、収集車両が常に良好な状態となるよう努めました。(生活環境課)
	公用車の保有は、必要最小限である1台とし、可能な限り一度の利用時に複数の用件をこなせるよう効果的な利用に心がけました。(八郷地区市民センター)	—	—
	一元管理公用車の導入(車両の入替)に当たっては、可能な限り、低排出ガス車・低燃費車の導入を図っています。(管財課)	一元管理公用車の導入(車両の入替)に当たっては、可能な限り、低排出ガス車・低燃費車の導入を図っています。(管財課)	一元管理公用車の導入(車両の入替)に当たっては、可能な限り、低排出ガス車・低燃費車の導入を図っています。(管財課)
・PHVやEV、FCVなど低公害車の導入を検討する。	—	課で所有する2台の車両について、低燃費車両(令和2年度燃費基準50%向上達成車)を導入しました。(資産税課)	課で所有する2台の車両について、低燃費車両(令和2年度燃費基準50%以上向上達成車)を使用しています。(資産税課)
	北部清掃事業所でハイブリッド仕様の塵芥収集車を1台使用しているほか、ごみの車両積込時にエンジンが停止する電動式塵芥車を1台導入しています。(生活環境課)	北部汚水処理場でハイブリッド仕様の塵芥収集車を1台使用しています。(生活環境課)	北部汚水処理場でハイブリッド仕様の塵芥収集車を1台使用しています。(生活環境課)
	低公害車の導入を継続し、特定自動車の使用車両40台中23台が低公害車となりました。(上下水道局総務課)	低公害車の導入を継続し、特定自動車の使用車両37台中22台が低公害車となりました。(上下水道局総務課)	低公害車の導入を継続し、特定自動車の使用車両37台中24台が低公害車となりました。(上下水道局総務課)
	—	—	次年度更新予定の広報車2台をハイブリッド車とすることを決定しました。今後も継続して広報車の更新の際は可能な限り低公害車の導入を検討します。(消防本部)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
<b>I 低炭素社会 2) 温室効果ガスの吸収 ①行政施策 (環境計画P. 33)</b>			
・無秩序な開発の抑制や森林・農地・緑地等の保全を進める。	神前大日山の自然環境の維持と保全について「かんどぎ里山を守る会」に業務委託し、里山の保全を行っています。(管財課)	神前大日山の自然環境の維持と保全について「かんどぎ里山を守る会」に業務委託し、里山の保全を行っています。(管財課)	神前大日山の自然環境の維持と保全について「かんどぎ里山を守る会」に業務委託し、里山の保全を行っています。(管財課)
	里山の役割を学ぶ講座「里山作り講座in南部丘陵公園」を実施しました。[全3回講座、参加者40名](四日市公害と環境未来館)	伐木実習と樹木の活用等を内容とする里山づくり講座を実施しました[全3回講座、参加者40人](四日市公害と環境未来館)	—
	神前大日山で行われる地区社協の自然との「ふれあい事業」に参加・協力しました。(神前地区市民センター)	神前大日山で行われる地区社協の自然との「ふれあい事業」に参加・協力しました。(神前地区市民センター)	—
	グリーンパーク岡山について、市民緑地指定第1号として引き続き、月3回の保全作業に協力しています。(県地区市民センター)	グリーンパーク岡山について、市民緑地指定第1号として引き続き、月3回の保全作業に協力しています。(県地区市民センター)	市民緑地指定第1号であるグリーンパーク岡山の保全作業に、積極的に参加しました。(県地区市民センター)
	「工場立地法」工場敷地内の緑地確保について指導を行いました。(商工課)	「工場立地法」工場敷地内の緑地確保について指導を行いました。(商工課)	「工場立地法」工場敷地内の緑地確保について指導を行いました。(商工課)
	里山・竹林環境保全支援事業 自治会等が自主的に取り組む里山や竹林の保全活動に対して支援を行いました。(農水振興課) <実績額:1,245千円>	里山・竹林環境保全支援事業 自治会等が自主的に取り組む里山や竹林の保全活動に対して支援を行いました。(農水振興課) <実績額:1,421千円>	里山・竹林環境保全支援事業 自治会等が自主的に取り組む里山や竹林の保全活動に対して支援を行いました。(農水振興課) <実績額:892千円>
	「里山保全事業」手入れの行き届かない里山のうち、市民緑地として地域等市民団体が市内9箇所において整備・維持管理を行い、身近な里山としての保全を行いました。(都市計画課) <実績額:3,129千円>	「里山保全事業」手入れの行き届かない里山のうち、市民緑地として地域等市民団体が市内8箇所において整備・維持管理を行い、身近な里山としての保全を行いました。(都市計画課) <実績額:3,291千円>	「里山保全事業」手入れの行き届かない里山のうち、市民緑地として地域等市民団体が市内8箇所において整備・維持管理を行うとともに新たに2箇所開設し、身近な里山としての保全を行いました。(市街地整備・公園課) <実績額:7,113千円>
	優良農地復元化事業費補助金・奨励金 荒れた農地の復元費を助成し、農地の再生を行いました。(復元面積25,390㎡ 2年目土壌改良面積49,803㎡)。(農水振興課) <実績額:2,658千円>	優良農地復元化事業費補助金・奨励金 荒れた農地の復元費を助成し、農地の再生を行いました。(復元面積11,535㎡ 2年目土壌改良面積10,716㎡)。(農水振興課) <実績額:842千円>	優良農地復元化事業費補助金・奨励金 荒れた農地の復元費を助成し、農地の再生を行いました。(復元面積5,730㎡、2年目土壌改良面積4,690㎡)。(農水振興課) <実績額:403千円>
・緑のカーテンなど市民や事業者が行う緑化活動を支援する。	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計80箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計74箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてゴーヤの苗を地区市民センター等の公共施設に配付し、グリーンカーテンの実施に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響により、地区市民センターにおけるグリーンカーテン講座は中止になりました。別途、個人・団体のグリーンカーテンフォトコンテストは例年どおり実施しました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計53箇所](環境保全課・各地区市民センター)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	イオンモール四日市北店、(株)デルタスタジオ、すわ公園交流館、四日市市勤労者・市民交流センターにてグリーンカーテン講座を行い、ゴーヤの苗の配布を行いました。[4回実施、参加者250名](四日市公害と環境未来館)	(株)デルタスタジオ、すわ公園交流館、勤労者・市民交流センターにてグリーンカーテン講座を行い、ゴーヤの苗の配布を行いました。[3回実施、参加者60名](四日市公害と環境未来館)	—
	「花と緑いっぱい事業」公園、街路等の公共施設への花壇設置など緑化活動を行う市民ボランティア等89団体に対して、支援を行いました。(都市計画課) <実績額:8,753千円>	「花と緑いっぱい事業」公園、街路等の公共施設への花壇設置など緑化活動を行う市民ボランティア等81団体に対して、支援を行いました。(都市計画課) <実績額:8,187千円>	「花と緑いっぱい事業」公園、街路等の公共施設への花壇設置など緑化活動を行う市民ボランティア等75団体に対して、支援を行いました。(市街地整備・公園課) <実績額:7,494千円>
	市民緑地制度について、広報よっかいち(7月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)	緑化基金活用事業について、広報よっかいち(7月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)	市民緑地制度について、広報よっかいち(5月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)
<b>I 低炭素社会 2)温室効果ガスの吸収 ②意識や行動面(一事業者として)(環境計画P.33)</b>			
・市民や事業者の環境保全活動に参加・協力する。	矢合川の美化活動を行うフラワーオアシス推進事業に参加するとともに、地区社会福祉協議会が行うホテル観察会、野鳥観察会について地区広報に掲載し、参加を呼びかけました。(桜地区市民センター)	矢合川の美化活動を行うフラワーオアシス推進事業に参加するとともに、地区社会福祉協議会が行うホテル観察会、野鳥観察会について地区広報に掲載し、参加を呼びかけました。(桜地区市民センター)	矢合川の美化活動を行うフラワーオアシス推進事業に参加するとともに、地区社会福祉協議会が行う野鳥観察会について地区広報に掲載し、参加を呼びかけました。(桜地区市民センター)
	「里山を守る会」の里山保全活動(大日山自然公園整備作業・年4回、記念植樹)に参加・協力しました。(神前地区市民センター)	「里山を守る会」の里山保全活動(記念植樹等)に参加・協力しました。(神前地区市民センター)	「里山を守る会」の里山保全活動(大日山自然公園整備作業・年4回、記念植樹)に参加・協力しました。(神前地区市民センター)
	—	地域の有志により「鶯谷竹の広場」(あさけが丘北方)にて里山保全活動を実施しており、その活動を指導しました。(下野地区市民センター)	地域の有志により「鶯谷竹の広場」(あさけが丘北方)にて里山保全活動を実施しており、その活動を指導しました。(下野地区市民センター)
	「里山保全活動」として、市民緑地制度の認定を受けているグリーンパーク岡山にて、グリーンパーク岡山を愛する会の会員と共に、定期的に整備・維持管理・清掃を実施しました。また、年2回、地区住民が参加する一斉清掃作業にも参加、協力しています。(県地区市民センター)	「里山保全活動」として、市民緑地制度の認定を受けているグリーンパーク岡山にて、グリーンパーク岡山を愛する会の会員と共に、定期的に整備・維持管理・清掃を実施しました。また、年2回、地区住民が参加する一斉清掃作業にも参加、協力しています。(県地区市民センター)	「里山保全活動」として、市民緑地制度の認定を受けているグリーンパーク岡山にて、グリーンパーク岡山を愛する会の会員と共に、定期的に整備・維持管理・清掃を実施しました。また、秋には地区住民が参加する一斉清掃作業にも参加しました。(県地区市民センター)
	連合自治会主催で不法投棄されたごみを拾いながらごみ問題を考える「クリーンアップ八郷」に参加・協力しました。(八郷地区市民センター)	—	—
	内部川清掃活動への参加、協力をしました。(内部地区市民センター)	内部川清掃活動への参加、協力をしました。(内部地区市民センター)	—
	—	—	—

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:942千円>	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:998千円>	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:998千円>
	一般向けの環境講座「自然観察会」を実施し、市民団体の環境保全活動に協力しました。(四日市公害と環境未来館)	春の里山(春の野草や昆虫)など市内等で行う自然観察会を実施し、市民団体の環境保全活動に協力しました。[10回実施、参加者のべ773人](四日市公害と環境未来館)	一般向けの環境講座「自然観察会」を実施し、市民団体の環境保全活動に協力しました。(四日市公害と環境未来館)
	公園愛護会活動等のボランティア活動に協力しています。(市街地整備・公園課)	公園愛護会活動等のボランティア活動に協力しています。(市街地整備・公園課)	公園愛護会活動等のボランティア活動に協力しています。(市街地整備・公園課)
	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」及び「里山保全プロジェクト」の事業の中で実施した、朝明川の美しい環境や、貴重な里山や緑の環境を次世代に残すための活動に参加・協力しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」及び「里山保全プロジェクト」の事業の中で実施した、朝明川の美しい環境や、貴重な里山や緑の環境を次世代に残すための活動に参加・協力しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」及び「里山保全プロジェクト」の事業の中で実施した、朝明川の美しい環境や、貴重な里山や緑の環境を次世代に残すための活動に参加・協力しました。(大矢知地区市民センター)
<b>I 低炭素社会 2) 温室効果ガスの吸収 ③建物や設備面(一事業者として) (環境計画P. 33)</b>			
・市有林の管理を行う。	水沢市有林の管理・保全を行っています。(管財課) <実績額:3,525千円>	水沢市有林の管理・保全を行っています。(管財課) <実績額:3,870千円>	水沢市有林の管理・保全を行っています。(管財課) <実績額:4,678千円>
<b>I 低炭素社会 3) 温暖化に関連する環境対策 ①行政施策 (環境計画P. 34)</b>			
・家電リサイクル法に基づくフロン適正な回収・処理等について、啓発や指導を進める。	窓口で、ごみガイドブックを必要な方に配布、啓発を行いました。(市民課、各地区市民センター)	窓口で、ごみガイドブックを必要な方に配布、啓発を行いました。(市民課、各地区市民センター)	窓口で、ごみガイドブックを必要な方に配布、啓発を行いました。(各地区市民センター)
・緑のカーテンなどヒートアイランド対策を進める。	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計80箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計74箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてゴーヤの苗を地区市民センター等の公共施設に配付し、グリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計53箇所](環境保全課・各地区市民センター)
	イオンモール四日市北店、(株)デルタスタジオ、すわ公園交流館、四日市市勤労者・市民交流センターにてグリーンカーテン講座を行い、ゴーヤの苗の配布を行いました。[4回実施、参加者250名](四日市公害と環境未来館)	(株)デルタスタジオ、すわ公園交流館、勤労者・市民交流センターにてグリーンカーテン講座を行い、ゴーヤの苗の配布を行いました。[3回実施、参加者60名](四日市公害と環境未来館)	—
<b>I 低炭素社会 3) 温暖化に関連する環境対策 ②意識や行動面 (環境計画P. 34)</b>			

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・オゾン層破壊など国際的な環境の動向や取組みに関心をもつ。	各所属において年間研修計画で教育訓練を実施しています。(消防本部)	各所属において年間研修計画で教育訓練を実施しています。(消防本部)	各所属において年間研修計画で教育訓練を実施しています。(消防本部)
<b>I 低炭素社会 3) 温暖化に関連する環境対策 ③施設や設備面 (環境計画P. 34)</b>			
・公共施設において緑のカーテンや、敷地の緑化を行う。	「緑のカーテン」植物を地区市民センターの壁面等に生育させ窓を覆うことにより室内の温度上昇の抑制を図りました。(各地区市民センター、あさけプラザ)	「緑のカーテン」植物を地区市民センターの壁面等に生育させ窓を覆うことにより室内の温度上昇の抑制を図りました。(各地区市民センター、あさけプラザ)	「緑のカーテン」植物を地区市民センターの壁面等に生育させ窓を覆うことにより室内の温度上昇の抑制を図りました。(各地区市民センター、あさけプラザ)
	保育園や幼稚園、こども園において、ゴーヤ等にてグリーンカーテンを高くはわせ、直射日光を遮り涼しい場所をつくることで、テラスや室内の温度上昇を防ぎました。(保育幼稚園課)	保育園や幼稚園、こども園において、ゴーヤ等にてグリーンカーテンを高くはわせ、直射日光を遮り涼しい場所をつくることで、テラスや室内の温度上昇を防ぎました。(保育幼稚園課)	保育園や幼稚園、こども園において、ゴーヤ等にてグリーンカーテンを高くはわせ、直射日光を遮り涼しい場所をつくることで、テラスや室内の温度上昇を防ぎました。(保育幼稚園課)
	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計80箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計74箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてゴーヤの苗を地区市民センター等の公共施設に配付し、グリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計53箇所](環境保全課・各地区市民センター)
	公園内において花づくりボランティア事業などにより緑化を行っています。(市街地整備・公園課)	公園内において花づくりボランティア事業などにより緑化を行っています。(市街地整備・公園課)	公園内において花づくりボランティア事業などにより緑化を行っています。(市街地整備・公園課)
	空調機更新及び冷蔵庫設備修繕時に、フロン回収破壊法に基づき適正に処理しました。(食肉センター・食肉市場)	製氷機更新時に、フロン回収破壊法に基づき適正に処理しました。(食肉センター・食肉市場)	汚水処理施設の2次処理放流水の水質検査を行いました。(食肉センター・食肉市場)
・業務用機器のフロンの適正な処理を行う。	フロン排出抑制法に基づき、都度適正に処理しました。(市立四日市病院)	フロン排出抑制法に基づき、都度適正に処理しました。(市立四日市病院) 所管施設の冷房機、冷凍機で使用するフロンに対して、第一種フロン充填回収業者にフロン排出抑制法で定める適正回数の定期点検を委託し、実施した。(健康福祉課)	
<b>II 循環型社会 1) 3Rの推進 ①行政施策 (環境計画P. 38)</b>			

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・ごみ減量に関する普及啓発など家庭系ごみの排出抑制を進める。	<p>ごみ問題に対する市民や事業者の意識を高めるため、四日市市クリーンセンターの見学会や小学校、自治会等の団体を対象とした「いきいき出前講座」、スマートフォン向けのアプリケーションの活用等で、ごみの分別方法や、正しいごみの出し方などの啓発を行うとともに、ごみ減量の重要性、3Rの取り組みについて周知啓発を活動を行ってきました。平成30年度はクリーンセンターの見学会149回(4,515人)実施し、いきいき出前講座8回(775人)実施しました。また、食品ロス削減を進めるため、民間事業者と協力いただき「よっかいち食べきり運動モデル店事業」を実施し、宴会時の食べ残しを減らすための「3010運動」などの取り組みを通じて、ごみの減量を進めました。(生活環境課)</p>	<p>ごみ問題に対する市民や事業者の意識を高めるため、四日市市クリーンセンターの見学会や小学校、自治会等の団体を対象とした「いきいき出前講座」、スマートフォン向けのアプリケーションの活用等で、ごみの分別方法や、正しいごみの出し方などの啓発を行うとともに、ごみ減量の重要性、3Rの取り組みについて周知啓発を活動を行ってきました。特に、スマートフォン向けのアプリケーションについては、Webからも見られるよう発信機能を追加することで、より見やすく多様な環境からのアクセスを担保するなど、情報発信の強化に取り組みました。また、令和元年度はクリーンセンターの見学会146回(4,468人)実施し、いきいき出前講座13回(489人)実施するとともに、食品ロス削減を進めるため、冷蔵庫に貼り付けるマグネットやチラシといった啓発物に加え、四日市市クリーンセンターへの社会見学や出前講座などで使用する啓発映像を作成するなど、ごみの減量を進めました。(生活環境課)</p>	<p>四日市市ごみ処理基本計画を改定し、食品ロス削減の推進や次世代を担う子どもたちへの啓発、事業系ごみの適正処理の徹底といった施策など15項目を重点施策として位置づけ、ごみの減量をより一層推進していく方針を策定しました。また、ごみ問題に対する市民や事業者の意識を高めるため、四日市市クリーンセンターの見学会や小学校、自治会等の団体を対象とした「いきいき出前講座」、スマートフォン向けのアプリケーションの活用等で、ごみの分別方法や、正しいごみの出し方などの啓発を行うとともに、ごみ減量の重要性、3Rの取り組みについて周知啓発活動を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、限定的な実施となった事業もありましたが、ごみ収集車を用いた小学校への出前講座といった感染症対策に配慮した事業を実施するなど取り組みを進めました。令和2年度はクリーンセンターの見学会を17回(83人)実施し、いきいき出前講座8回(268人)を実施しました。(生活環境課)</p>
	<p>「生ごみ処理機購入費補助事業」として一般家庭から出される生ごみの資源化(堆肥化)と減量を推進するため、生ごみ処理機購入費について、一基あたり上限1万5千円の補助事業を実施しました。[平成30年度は46基の補助を行い、平成30年度末で累計6,135基となりました。](生活環境課) &lt;実績額:584千円&gt;</p>	<p>「生ごみ処理機購入費補助事業」として一般家庭から出される生ごみの資源化(堆肥化)と減量を推進するため、生ごみ処理機購入費について、一基あたり上限1万5千円の補助事業を実施しました。[令和元年度は32基の補助を行い、令和元年度末で累計6,167基となりました。](生活環境課) &lt;実績額:421千円&gt;</p>	<p>「生ごみ処理機購入費補助事業」として一般家庭から出される生ごみの資源化(堆肥化)と減量を推進するため、生ごみ処理機購入費について、一基あたり上限1万5千円の補助事業を実施しました。[令和2年度は70基の補助を行い、令和2年度末で累計6,237基となりました。](生活環境課) &lt;実績額:950千円&gt;</p>
	<p>生ごみの堆肥化によるごみの減量化、資源化に向けて「ダンボールコンポストによる生ごみの堆肥化講座」を実施しました。(県地区市民センター[延べ6回、参加者24名]、中部地区市民センター)夏休み自由研究対策講座こどもエコゼミの中で、四日市のごみの量の変化やごみが増えると困ることを学ぶ紙のリサイクルをテーマとした「ごみ学習～紙のリサイクル」、エコカレッジの中で、食品リサイクルなどについて学ぶバス研修「食品リサイクルと四日市の自然、海のごみを学ぶ」を実施しました。[2講座、参加者45名](四日市公害と環境未来館)</p>	<p>生ごみの堆肥化によるごみの減量化、資源化に向けて「ダンボールコンポストによる生ごみの堆肥化講座」を実施しました。(県地区市民センター[延べ3回、参加者13名]、大矢知地区市民センター)夏休みに「バスで学ぶゴミのゆくえ」と題した小中学校及び保護者を対象にしたバスツアーを開催し、四日市市クリーンセンター、朝日金属(株)四日市工場を見学しました。[参加者38名]大人を対象に「3R講座 リユースショップを活用しよう」[参加者11名]、四日市市クリーンセンターバスツアー[参加者8名]を開催したほか、乳幼児を持つ家族を対象に「はじめてみよう!おむつに頼りすぎない育児」を開催し、ごみ排出抑制を啓発しました。[参加者27名](四日市公害と環境未来館)</p>	—

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	食品ロスに関する取り組みについて、広報よっかいち(10月上旬号)で紹介しました。(広報マーケティング課)	年末に増えるごみや食品ロスについて、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」(12月11日～20日放送)で紹介しました。(広報マーケティング課)	食品ロスに関する取り組みについて、広報よっかいち(10月上旬号)で紹介しました。(広報マーケティング課)
	年末に増えるごみやごみの出し方、3R、食品ロスについて、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」(12月11日～20日放送)で紹介しました。(広報マーケティング課)	—	年末に増えるごみやごみの分別について、市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」(12月11日～20日放送)で紹介しました。(広報マーケティング課)
・普及啓発やごみ処理手数料の見直しなど事業系ごみの排出抑制を進める。	事業者向けの啓発パンフレットである「事業系一般廃棄物の適正処理のルール」を配布し、事業者に対して一層の適切なごみの分別などを指導するとともに、四日市市クリーンセンターにごみを搬入する事業者を対象として、展開検査を実施し、不適切なごみの搬入の抑制に取り組みました。(生活環境課)	事業者向けの啓発パンフレットである「事業系一般廃棄物の適正処理のルール」を配布し、事業者に対して一層の適切なごみの分別などを指導するとともに、四日市市クリーンセンターにごみを搬入する事業者を対象として、展開検査を実施し、不適切なごみの搬入の抑制に取り組みました。(生活環境課)	事業者向けの啓発パンフレットである「事業系一般廃棄物の適正処理のルール」を配布し、事業者に対して一層の適切なごみの分別などを指導するとともに、四日市市クリーンセンターにごみを搬入する事業者を対象として、展開検査を実施し、不適切なごみの搬入の抑制に取り組みました。(生活環境課)
・資源集団回収活動の支援など廃棄物のリユース・リサイクルを進める。	「資源集団回収活動奨励事業」として、ごみの減量及び資源の有効利用の促進を図るため、四日市市資源集団回収助成金交付規則に基づき、住民団体が自主的に実施する再生資源の集団回収を通じ、地域社会づくりに資する活動にかかる経費の一部助成を行いました。[平成30年度は2,045tが回収され、資源化されました。](生活環境課) <実績額:8,181千円>	「資源集団回収活動奨励事業」として、ごみの減量及び資源の有効利用の促進を図るため、四日市市資源集団回収助成金交付規則に基づき、住民団体が自主的に実施する再生資源の集団回収を通じ、地域社会づくりに資する活動にかかる経費の一部助成を行いました。[令和元年度は1,811tが回収され、資源化されました。](生活環境課) <実績額:7,243千円>	「資源集団回収活動奨励事業」として、ごみの減量及び資源の有効利用の促進を図るため、四日市市資源集団回収助成金交付規則に基づき、住民団体が自主的に実施する再生資源の集団回収を通じ、地域社会づくりに資する活動にかかる経費の一部助成を行いました。[令和2年度は1,082tが回収され、資源化されました。](生活環境課) <実績額:4,329千円>
	ペットボトルについては、市内の拠点回収のほか、市全域で分別収集を実施し、リサイクルを行っています。 [平成30年度は431tが回収され、資源化しました。](生活環境課) プリンターインクカートリッジ回収場所提供(各地区市民センター)	ペットボトルについては、市内の拠点回収のほか、市全域で分別収集を実施し、リサイクルを行っています。 [令和元年度は435tが回収され、資源化しました。](生活環境課) プリンターインクカートリッジ回収場所提供(各地区市民センター)	ペットボトルについては、市内の拠点回収のほか、市全域で分別収集を実施し、リサイクルを行っています。 [令和2年度は421tが回収され、資源化しました。](生活環境課) プリンターインクカートリッジ回収場所提供(各地区市民センター)
	廃棄物の適切な分別に努め、リユース・リサイクルを推進しました。(八郷地区市民センター)	—	—
・市民や事業者の3R活動を支援する。	地域内環境サークルの活動支援を行いました。(ペットボトルキャップ回収場所提供、アルミ缶回収等)(各地区市民センター)	地域内環境サークルの活動支援を行いました。(ペットボトルキャップ回収場所提供、アルミ缶回収等)(各地区市民センター)	地域内環境サークルの活動支援を行いました。(ペットボトルキャップ回収場所提供、アルミ缶回収等)(各地区市民センター)
	日永子ども人権文化育成協議会が行っている「ブルトップ回収」の回収場所の提供を行いました。(日永地区市民センター)	日永子ども人権文化育成協議会が行っている「ブルトップ回収」の回収場所の提供を行いました。(日永地区市民センター)	日永子ども人権文化育成協議会が行っている「ブルトップ回収」の回収場所の提供を行いました。(日永地区市民センター)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	地区内の障害者自立支援施設が実施しているアルミ缶回収事業の収集を支援しました。(内部・神前地区市民センター) 県立さらら学園が実施しているアルミ缶回収事業の収集を支援しました。(県地区市民センター)	地区内の障害者自立支援施設が実施しているアルミ缶回収事業の収集を支援しました。(内部地区市民センター) 近隣の障害者自立支援施設(あさけワークス)が実施しているアルミ缶回収事業の収集を支援しました。(橋北地区市民センター)	地区内の障害者自立支援施設が実施しているアルミ缶回収事業の収集を支援しました。(日永地区市民センター) 障害者自立支援施設(あさけワークス)が実施しているアルミ缶回収事業の収集を支援しました。(橋北地区市民センター)
	夏休み自由研究対策講座こどもエコゼミの中で、四日市のごみの量の変化やごみが増えると困ることを学ぶ紙のリサイクルをテーマとした「ごみ学習～紙のリサイクル」、エコカレッジの中で、食品リサイクルなどについて学ぶバス研修「食品リサイクルと四日市の自然、海のごみを学ぶ」を実施しました。[2講座、参加者45名](四日市公害と環境未来館)	環境問題に対する理解促進と参加者同士の交流を目的に、大人を対象に「3R講座 リユースショップを活用しよう」を実施しました。[参加者11名](四日市公害と環境未来館)	夏休み自由研究対策講座こどもエコゼミの中で、四日市のごみの量の変化やごみが増えると困ることを学ぶ紙のリサイクルをテーマとした「ごみ学習～紙のリサイクル」、エコカレッジの中で、食品リサイクルなどについて学ぶバス研修「食品リサイクルと四日市の自然、海のごみを学ぶ」を実施しました。[2講座、参加者45名](四日市公害と環境未来館)
	樹木剪定業務委託では、児童生徒の安全確保及び景観の保持を基本目的とし、樹木の育成状況・空間的余裕などを考慮して行い、剪定枝はチップ化、再資源化を行う仕様としました。(教育施設課)	樹木剪定業務委託では、児童生徒の安全確保及び景観の保持を基本目的とし、樹木の育成状況・空間的余裕などを考慮して行い、剪定枝はチップ化、再資源化を行う仕様としました。(教育施設課)	樹木剪定業務委託では、児童生徒の安全確保及び景観の保持を基本目的とし、樹木の育成状況・空間的余裕などを考慮して行い、剪定枝はチップ化、再資源化を行う仕様としました。(教育施設課)
	日永浄化センター汚泥焼却炉施設で脱水ケーキを焼却して発生した焼却灰の有効利用を図るため、セメント製造会社と協定を締結しており、ほとんどがセメント原料として利用されています。(上下水道局施設課)	日永浄化センター汚泥焼却炉施設で脱水ケーキを焼却して発生した焼却灰の有効利用を図るため、セメント製造会社と協定を締結しており、ほとんどがセメント原料として利用されています。(上下水道局施設課)	日永浄化センター汚泥焼却炉施設で脱水ケーキを焼却して発生した焼却灰の有効利用を図るため、セメント製造会社と協定を締結しており、ほとんどがセメント原料として利用されています。(上下水道局施設課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	<p>感染性産業廃棄物処理業務において、土木資材へのリサイクル処理を実施しました。(市立四日市病院)</p>	<p>感染性産業廃棄物処理業務において、土木資材へのリサイクル処理を実施しました。(市立四日市病院)</p>	<p>感染性産業廃棄物処理業務において、土木資材へのリサイクル処理を実施しました。(市立四日市病院)</p> <p>応急診療所で排出される特別管理産業廃棄物(感染性廃棄物)については、特別管理産業廃棄物管理者を設置するとともに、同廃棄物の処理業/処分業を取得する業者に中間処理/最終処分を委託し、適切に処理している。(健康福祉課)</p> <p>所管施設から排出される産業廃棄物については、品目別に分別し、適切な処理業者に処分を委託した。(健康づくり課、社会福祉協議会)</p> <p>所管施設から排出される事業系一般廃棄物については、廃棄物処理法に基づき処理業者に委託し、あるいは自ら四日市市クリーンセンターに運搬し、適正に処理している。(健康づくり課、社会福祉協議会)</p> <p>家電リサイクル法で定められる家電4品目の所管施設からの排出については、法に基づき適正に処理している。(健康づくり課、社会福祉協議会)</p>
<b>Ⅱ 循環型社会 1) 3Rの推進 ②意識や行動面(一事業者として) (環境計画P. 38)</b>			
・ごみの正しい分別を行う。	ごみの正しい分別を徹底しました。(全庁)	ごみの正しい分別を徹底しました。(全庁)	ごみの正しい分別を徹底しました。(全庁)
	本庁舎・総合会館内の執務室におけるゴミ箱の設置数を必要最小限にするとともに、ごみの分別の徹底を図っています。(管財課)	本庁舎・総合会館内の執務室におけるゴミ箱の設置数を必要最小限にするとともに、ごみの分別の徹底を図っています。(管財課)	本庁舎・総合会館内の執務室におけるゴミ箱の設置数を必要最小限にするとともに、ごみの分別の徹底を図っています。(管財課)
・紙の使用量の削減、再生紙の利用を進める。	両面コピー、両面印刷を徹底し、常に紙使用量の削減に努めました。(全庁)	両面コピー、両面印刷を徹底し、常に紙使用量の削減に努めました。(全庁)	両面コピー、両面印刷を徹底し、常に紙使用量の削減に努めました。(全庁)
	裏紙の利用を心がけ、紙の利用量を削減するとともに、古紙のリサイクル及び再生紙の購入に努めました。(全庁)	裏紙の利用を心がけ、紙の利用量を削減するとともに、古紙のリサイクル及び再生紙の購入に努めました。(全庁)	裏紙の利用を心がけ、紙の利用量を削減するとともに、古紙のリサイクル及び再生紙の購入に努めました。(全庁) 分別ボックスを設け、裏紙を積極的に利用するよう貼り紙で呼びかけました(危機管理室)
・グリーン購入や再生品の使用を進める。	物品の購入の際にはグリーン購入適合品を選ぶよう心がけました。(全庁)	物品の購入の際にはグリーン購入適合品を選ぶよう心がけました。(全庁)	物品の購入の際にはグリーン購入適合品を選ぶよう心がけました。(全庁)
	みえグリーン購入クラブに加入し、グリーン購入の啓発や情報収集に努めています。(環境保全課)	みえグリーン購入クラブに加入し、グリーン購入の啓発や情報収集に努めています。(環境保全課)	みえグリーン購入クラブに加入し、グリーン購入の啓発や情報収集に努めています。(環境保全課)
<b>Ⅱ 循環型社会 2) 安全で適切な廃棄物処理システムの構築 ①行政施策 (環境計画P. 39)</b>			

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・四日市市クリーンセンターの安定的な運用に努める。	運営維持管理事業者と行政間で定例会や運営会議等、密な情報共有を行うことにより、安定的な運用に努めました。(生活環境課)	運営維持管理事業者と行政間で定例会や運営会議等、密な情報共有を行うことにより、安定的な運用に努めました。(生活環境課)	運営維持管理事業者と行政間で定例会や運営会議等、密な情報共有を行うことにより、安定的な運用に努めました。(生活環境課)
・ごみの減量化、資源化を進める。	家庭から出る食品ロスの削減などの啓発事業を実施するとともに、四日市市クリーンセンターに搬入される事業系のごみを対象に展開検査を実施するなど、ごみの減量に取り組みました。また、資源物の分別を進めるとともに、ごみを焼却し、熱を回収するサーマルリサイクルを進めることによって、資源化に取り組みました。(生活環境課)	家庭から出る食品ロスの削減などの啓発事業を実施するとともに、四日市市クリーンセンターに搬入される事業系のごみを対象に展開検査を実施するなど、ごみの減量に取り組みました。また、資源物の分別を進めるとともに、ごみを焼却し、熱を回収するサーマルリサイクルを進めることによって、資源化に取り組みました。(生活環境課)	家庭から出る食品ロスの削減などの啓発事業を実施するとともに、四日市市クリーンセンターに搬入される事業系のごみを対象に展開検査を実施するなど、ごみの減量に取り組みました。また、資源物の分別を進めるとともに、ごみを焼却し、熱を回収するサーマルリサイクルを進めることによって、資源化に取り組みました。(生活環境課)
<b>Ⅱ循環型社会 2)安全で適切な廃棄物処理システムの構築 ②建物や設備面(一事業者として)(環境計画P. 39)</b>			
・四日市市クリーンセンターの安全な運用と南部埋立処分場の効率的な運用に努める。	○四日市市クリーンセンター 運営維持管理事業者の整備計画のもと計画的に定期整備を行うなど、安全な施設運用に努めました。 ○南部埋立処分場 クリーンセンター稼働前の平成28年度以前に比べ大幅に処分量を低減しつつ、クリーンセンターにおける処理不適物等を既存設備にて処理を行いました。(生活環境課)	○四日市市クリーンセンター 運営維持管理事業者の整備計画のもと計画的に定期整備を行うなど、安全な施設運用に努めました。 ○南部埋立処分場 クリーンセンターにおける処理不適物及び災害廃棄物のみ処理を行いました。(生活環境課)	○四日市市クリーンセンター 運営維持管理事業者の整備計画のもと計画的に定期整備を行うなど、安全な施設運用に努めました。 ○南部埋立処分場 クリーンセンターにおける処理不適物及び火災による廃棄物のみ処理を行いました。(生活環境課)
・溶融スラグ、溶融メタル、溶融飛灰、破碎金属くず等の資源化を進める。	汚泥焼却灰や脱水汚泥の大部分をセメント資源化しています。(上下水道局施設課) <実績額:7,028千円>	汚泥焼却灰や脱水汚泥の大部分をセメント資源化しています。(上下水道局施設課) <実績額:8,417千円>	汚泥焼却灰をセメント資源化しています。(上下水道局施設課) <実績額:7,731千円>
	脱水汚泥の一部をたい肥化しています。(上下水道局施設課) <実績額:1,700千円>	脱水汚泥の一部をたい肥化しています。(上下水道局施設課) <実績額:3,144千円>	—
・南部埋め立て処分場の処分量低減に努める。	南部埋立処分場では主にクリーンセンターでの処理不適物の処分を行っているが、木くずは南部埋立処分場で破碎処理後に再度クリーンセンターに返送し処理する等、処分量低減に努めました。(生活環境課)	長大な木くずを破碎し、再度クリーンセンターに転送のうえ処理するなど、処分量低減に努めました。(生活環境課)	長大な木くずを破碎し、再度クリーンセンターに転送のうえ処理するなど、処分量低減に努めました。(生活環境課)
<b>Ⅱ循環型社会 3)市民・事業者・行政の役割分担と協働による取り組みの推進 ①行政施策(環境計画P. 39)</b>			
・ごみ減量に重点を置いた啓発、リサイクル推進、分別の徹底、広報活動を積極的に行う。	収集日に出すことが困難な市民が利用しやすい拠点回収システムを構築するため、エコステーション設置促進事業費助成金交付制度により、市民、事業者、行政が協働で取り組む拠点作りを進めています。[平成30年度は337tが回収され、資源化されました。](生活環境課) <実績額:1,349千円>	収集日に出すことが困難な市民が利用しやすい拠点回収システムを構築するため、エコステーション設置促進事業費助成金交付制度により、市民、事業者、行政が協働で取り組む拠点作りを進めています。[令和元年度は329tが回収され、資源化されました。](生活環境課) <実績額:1,318千円>	収集日に出すことが困難な市民が利用しやすい拠点回収システムを構築するため、エコステーション設置促進事業費助成金交付制度により、市民、事業者、行政が協働で取り組む拠点作りを進めています。[令和2年度は284tが回収され、資源化されました。](生活環境課) <実績額:1,138千円>

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・事業者に対する適正処理の指導、啓発に努める。	事業者向けの啓発パンフレットである「事業系一般廃棄物の適正処理のルール」を配付し、事業者に対して一層の適切なごみの分別などを指導するとともに、四日市市クリーンセンターにごみを搬入する事業者を対象として、展開検査を実施し、不適正なごみの搬入の抑制に取り組みました。(生活環境課)	事業者向けの啓発パンフレットである「事業系一般廃棄物の適正処理のルール」を配付し、事業者に対して一層の適切なごみの分別などを指導するとともに、四日市市クリーンセンターにごみを搬入する事業者を対象として、展開検査の実施し、不適正なごみの搬入の抑制に取り組みました。(生活環境課)	事業者向けの啓発パンフレットである「事業系一般廃棄物の適正処理のルール」を配付し、事業者に対して一層の適切なごみの分別などを指導するとともに、四日市市クリーンセンターにごみを搬入する事業者を対象として、展開検査の実施し、不適正なごみの搬入の抑制に取り組みました。(生活環境課)
Ⅲ自然共生社会 1)生物多様性の確保 ①行政施策 (環境計画P.45)			
・定期的な生き物調査を実施する。	地区市民センターで「川のクリーン作戦」「自然観察会」等を実施しました。(各地区市民センター)	地区市民センターで「川のクリーン作戦」「自然観察会」等を実施しました。(各地区市民センター)	地区市民センターで「川のクリーン作戦」「自然観察会」等を実施しました。(各地区市民センター)
	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:942千円>	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:998千円>	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:998千円>
	市民に本市に残る豊かな自然に関心を向けてもらい、環境保全の大切さを伝えていくため、市内の自然環境をまとめた冊子「よっかいちの自然」(全4集。平成6～9年発刊)のリニューアル版として、第1集「丘陵地や山地の林」を発刊しました。第2集「河川・湿地・地質」の印刷データの作成を行いました。(環境保全課)<実績額:1,762千円>	市民に本市に残る豊かな自然に関心を向けてもらい、環境保全の大切さを伝えていくため、市内の自然環境をまとめた冊子「よっかいちの自然」(全4集。平成6～9年発刊)のリニューアル版として、第2集「河川・湿地・地質」を発刊しました。第3集「住宅地・公園・畑地」の印刷データの作成を行いました。(環境保全課)<実績額:1,943千円>	市民に本市に残る豊かな自然に関心を向けてもらい、環境保全の大切さを伝えていくため、市内の自然環境をまとめた冊子「よっかいちの自然」(全4集。平成6～9年発刊)のリニューアル版として、第3集「住宅地・公園・畑地」を発刊しました。第4集「海岸、河口」の印刷データの作成を行いました。(環境保全課)<実績額:2,061千円>
	自然環境保護活動の普及・啓発のため出前講座として「水生生物調査」を実施しました。[年5回(内2回雨天中止)開催し、参加者156名](四日市公害と環境未来館)	河川環境保護活動の活性化を目的に、小学生以上を対象とし海蔵川で水生生物を調査する講座を年2回実施しました。[2回実施、参加者64人]また、河川環境に関する普及啓発を目的に、市内の小学校と地区市民センターにて川の生き物を採集して河川環境について学ぶ講座を実施しました。[5回実施(うち2回は台風接近のため中止)、参加者219名](四日市公害と環境未来館)	—
	市民センター事業として、ホタル、野菜、植物、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>	市民センター事業として、ホタル、野菜、植物、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター)	市民センター事業として、野菜、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>
	グリーンパーク岡山にて、夏まつりのイベントの一つとして、動植物の自然観察会を行いました。(県地区市民センター)	グリーンパーク岡山にて、夏まつりのイベントの一つとして、動植物の自然観察会を行いました。(県地区市民センター)	—

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	「天然記念物保存事業」国指定天然記念物御池沼沢植物群落の維持管理及び環境改善の一環として、専門家の指導を得ながら、保全対象植物の増加及び抑制対象植物の減少の経過観察を実施しました。(社会教育・文化財課) <実績額71千円>	「天然記念物保存事業」国指定天然記念物御池沼沢植物群落の維持管理及び環境改善の一環として、専門家の指導を得ながら、保全対象植物の増加及び抑制対象植物の減少の経過観察を実施しました。(社会教育・文化財課) <実績額40千円>	「天然記念物保存事業」国指定天然記念物御池沼沢植物群落の維持管理及び環境改善の一環として、例年行っている専門家の指導を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より全て中止しました。ただし、保全対象植物の増加及び抑制対象植物の減少の経過観察については実施しました。(社会教育・文化財課) <実績額0円>
	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、「朝明川の生き物観察会」を実施しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、「朝明川の生き物観察会」を実施しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、「朝明川の生き物観察会」を実施しました。(大矢知地区市民センター)
・外来種の種別や対策についての情報発信を行う。	センターパンフレットスタンドに特定外来生物などにかかるチラシを常時配架するなど注意喚起を行いました。(八郷地区市民センター)	センターパンフレットスタンドに特定外来生物などにかかるチラシを常時配架するなど注意喚起を行いました。(桜地区市民センター)	センターパンフレットスタンドに特定外来生物などにかかるチラシを常時配架するなど注意喚起を行いました。(桜地区市民センター)
	—	常磐地区内にアライグマの生息が確認されたため、地区市民センター発行の「お知らせ」で、防除についての周知を行いました。(常磐地区市民センター)	特定外来生物であるオオキンケイギクの駆除・処分などについてや、セアカゴケグモを見かけた場合の対処について、常磐地区市民センター発行の「お知らせ」で、周知しました。また、センター玄関のパンフレットスタンドに特定外来生物の対処や駆除など、注意を喚起するチラシを常時配架しました。(常磐地区市民センター)
	植物防疫所から依頼のあった「植物の移動規制」について、市ホームページへの掲載や、窓口にポスターを掲示するなど情報提供を行い、注意喚起を行いました。(農水振興課)	植物防疫所から依頼のあった「植物の移動規制」について、市ホームページへの掲載や、窓口にポスターを掲示するなど情報提供を行い、注意喚起を行いました。(農水振興課)	植物防疫所から依頼のあった「植物の移動規制」について、市ホームページへの掲載や、窓口にポスターを掲示するなど情報提供を行い、注意喚起を行いました。(農水振興課)
	内部川清掃活動で外来種のアレチウリの抜去を実施しました。(内部地区市民センター)	内部川清掃活動で外来種のアレチウリの抜去を実施しました。(内部地区市民センター) セアカゴケグモを見かけた場合の対処について、常磐地区市民センター発行の「お知らせ」で、注意を促しました。(常磐地区市民センター)	—
	特定外来生物のチラシを窓口に配架し、注意喚起を行いました。(環境保全課)	特定外来生物のチラシを窓口に配架し、注意喚起を行いました。(環境保全課)	特定外来生物のチラシを窓口に配架し、注意喚起を行いました。また、令和2年度はアライグマの見分け方のチラシや、被害予防策を市ホームページに掲載しました。(環境保全課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	河川・海の環境保全活動をテーマとした環境学習指導員養成講座の中で、在来種・外来種の種別について学ぶ「水生生物ボランティア研修会」を開催しました。[参加者9名](四日市公害と環境未来館)	子どもたちの自然に対する興味喚起を目的に、身近な自然調べとして「子ども自然探検隊 ビックリ！発見！うつべ川～在来種VS外来種～」を実施しました。[参加者43名] 「自然観察会」など現地でも外来種や帰化植物を観察した際に、紹介し現状や対策を説明しました。(四日市公害と環境未来館)	身近な自然調べはコロナ禍のため開催中止としました。(四日市公害と環境未来館)
・無秩序な開発の抑制や森林・農地・緑地等の保全を進める。【再掲】	優良農地復元化事業費補助金・奨励金 荒れた農地の復元費を助成し、農地の再生を行いました。(復元面積25,390㎡)。(農水振興課) ＜実績額:2,658千円＞	優良農地復元化事業費補助金・奨励金 荒れた農地の復元費を助成し、農地の再生を行いました。(復元面積11,535㎡ 2年目土壌改良面積10,716㎡)。(農水振興課) ＜実績額:842千円＞	優良農地復元化事業費補助金・奨励金 荒れた農地の復元費を助成し、農地の再生を行いました。(復元面積5,730㎡、2年目土壌改良面積4,690㎡)。(農水振興課) ＜実績額:403千円＞
	里山・竹林環境保全支援事業 自治会等が自主的に取り組む里山や竹林の保全活動に対して支援を行いました。(農水振興課) ＜実績額:1,245千円＞	里山・竹林環境保全支援事業 自治会等が自主的に取り組む里山や竹林の保全活動に対して支援を行いました。(農水振興課) ＜実績額:1,421千円＞	里山・竹林環境保全支援事業 自治会等が自主的に取り組む里山や竹林の保全活動に対して支援を行いました。(農水振興課) ＜実績額:892千円＞
	「里山保全事業」手入れの行き届かない里山のうち、市民緑地として地域等市民団体が市内9箇所において整備・維持管理を行い、身近な里山としての保全を行いました。(都市計画課) ＜実績額:3,129千円＞	「里山保全事業」手入れの行き届かない里山のうち、市民緑地として地域等市民団体が市内8箇所において整備・維持管理を行い、身近な里山としての保全を行いました。(都市計画課) ＜実績額:3,192千円＞	「里山保全事業」手入れの行き届かない里山のうち、市民緑地として地域等市民団体が市内8箇所において整備・維持管理を行うとともに新たに2箇所開設し、身近な里山としての保全を行いました。(市街地整備・公園課) ＜実績額:7,113千円＞
	公共工事等の熱帯材型枠使用抑制について、環境管理に係る配慮事項について、受注者に対し指導しました。(道路整備課)	公共工事等の熱帯材型枠使用抑制について、環境管理に係る配慮事項について、受注者に対し指導しました。(道路整備課)	公共工事等の熱帯材型枠使用抑制について、環境管理に係る配慮事項について、受注者に対し指導しました。(道路建設課・道路維持課)
	化学肥料・化学合成農薬を使用しない農業生産活動の推進によって、生物の個体数を増加させるなど、生物多様性保全に貢献しました。(取組面積122,300㎡) (農水振興課)＜実績額:978千円＞	化学肥料・化学合成農薬を使用しない農業生産活動の推進によって、生物の個体数を増加させるなど、生物多様性保全に貢献しました。(取組面積215,300㎡) (農水振興課)＜実績額:1,722千円＞	化学肥料・化学合成農薬を使用しない農業生産活動等の推進によって、生物の個体数を増加させるなど、生物多様性保全に貢献しました。(取組面積125,900㎡) (農水振興課)＜実績額:639千円＞
	—	生物多様性について、広報よっかいち(6月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)	三重テレビ放送の番組「旬感☆Mie」(5/15)で、生物多様性をテーマとして啓発を行いました。(広報マーケティング課)
	Ⅲ自然共生社会 1) 生物多様性の確保 ②一事業者として (環境計画P. 45)		
・市民や事業者の環境保全活動に参加・協力する。【再掲】	「川と海のクリーン大作戦」として、鈴鹿川のゴミを回収し、水辺の景観の回復、動植物の生息場の保護を目的とし実施しました。(河川排水課)	「川と海のクリーン大作戦」として、鈴鹿川のゴミを回収し、水辺の景観の回復、動植物の生息場の保護を目的とし実施しました。(河川排水課)	毎年11月末に鈴鹿川のゴミを回収し、水辺の景観の回復、動植物の生息場の保護を目的とする「川と海のクリーン大作戦」を実施していますが、令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。(河川排水課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	連合自治会主催で不法投棄されたごみを拾いながらごみ問題を考える「クリーンアップ八郷」に参加・協力しました。(八郷地区市民センター)	—	—
	吉崎海岸の清掃活動に参加し、漂流物や不法投棄されたゴミを回収すると共に、清掃活動後の環境学習会(ウミガメ保存会主催)に参加しました。(楠地区市民センター)	吉崎海岸の清掃活動に参加し、漂流物や不法投棄されたゴミを回収すると共に、清掃活動後の環境学習会(ウミガメ保存会主催)に参加しました。(楠地区市民センター)	吉崎海岸の清掃活動に参加し、漂流物や不法投棄されたゴミを回収すると共に、清掃活動後の環境学習会(ウミガメ保存会主催)に参加しました。(楠地区市民センター)
	公園などを市民の環境保全のフィールドとして提供しています。(市街地整備・公園課)	公園などを市民の環境保全のフィールドとして提供しています。(市街地整備・公園課)	公園などを市民の環境保全のフィールドとして提供しています。(市街地整備・公園課)
・市有林の管理を行う。【再掲】	水沢市有林の管理・保全を行っています。(管財課) <実績額:3,525千円>	水沢市有林の管理・保全を行っています。(管財課) <実績額:3,870千円>	水沢市有林の管理・保全を行っています。(管財課) <実績額:4,678千円>
<b>Ⅲ自然共生社会 2)自然と調和したまちの形成 ①行政施策 (環境計画P.46)</b>			
・緑のカーテンなど市民や事業者が行う緑化活動を支援する。【再掲】	地域での花と緑いっぱい事業の活動について支援を行いました。(各地区市民センター)	地域での花と緑いっぱい事業の活動について支援を行いました。(各地区市民センター)	地域での花と緑いっぱい事業の活動について支援を行いました。(各地区市民センター)
	市民緑地制度について、広報よっかいち(7月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)	緑化基金活用事業について、広報よっかいち(7月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)	市民緑地制度について、広報よっかいち(5月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)
	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計80箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計74箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてゴーヤの苗を地区市民センター等の公共施設に配付し、グリーンカーテンの実施に取り組みました。新型コロナウイルス感染症の影響により、地区市民センターにおけるグリーンカーテン講座は中止になりました。別途、個人・団体のグリーンカーテンフォトコンテストは例年どおり実施しました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計53箇所](環境保全課・各地区市民センター)
・吉崎海岸の環境保全活動支援など水辺環境の保全・活用を進める。	四日市市開発地域環境配慮指針に基づく指導を行い、多様な水辺環境などの保全に努めました。(環境保全課)	四日市市開発地域環境配慮指針に基づく指導を行い、多様な水辺環境などの保全に努めました。(環境保全課)	四日市市開発地域環境配慮指針に基づく指導を行い、多様な水辺環境などの保全に努めました。(環境保全課)
	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:942千円>	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:998千円>	吉崎海岸の在来の海浜植物保護のため除草・清掃を実施しました。また、参加者に対し、自然環境の保全に関する普及啓発のための講座を実施しました。[定期清掃を年12回など](環境保全課) <実績額:998千円>

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・体験学習会など自然とのふれ合いの場をつくる。	地区市民センターで「花と緑いっぱい事業」「川のクリーン作戦」「里山保全事業」「各町一斉清掃」「自然観察会」等の実施・支援しました。また、里山整備委員会の活動の紹介のほか、ボランティア活動の呼びかけを地区広報にて掲載するなど、協力しました。(各地区市民センター)	地区市民センターで「花と緑いっぱい事業」「川のクリーン作戦」「里山保全事業」「各町一斉清掃」「自然観察会」等の実施・支援しました。(各地区市民センター)	地区市民センターで「花と緑いっぱい事業」「川のクリーン作戦」「里山保全事業」「各町一斉清掃」「自然観察会」等の実施・支援しました。(各地区市民センター) 保々の自然に親しむ会の活動の紹介のほか、活動参加への呼びかけを地区広報にて掲載するなど、協力しました。(保々地区市民センター)
	—	自生する植物や廃材を利用した工作講座(しめ縄・ミニ門松づくりなど)を地元講師を招いて開催しました。(下野地区市民センター)	自生する植物や廃材を利用した工作講座(しめ縄・ミニ門松づくり、つるかご作り)を地元講師を招いて開催しました。(下野地区市民センター)
	ふれあい農園事業に参加、支援をしました。(県地区市民センター)	ふれあい農園事業に参加、支援をしました。(県地区市民センター)	ふれあい農園事業に参加、支援をしました。(県地区市民センター)
	保育園や幼稚園、こども園において、施設周辺の自然とのふれあいの機会を設け、日々の活動の中で子どもたちの豊かな情操を育みました。(保育幼稚園課)	保育園や幼稚園、こども園において、施設周辺の自然とのふれあいの機会を設け、日々の活動の中で子どもたちの豊かな情操を育みました。(保育幼稚園課)	保育園や幼稚園、こども園において、施設周辺の自然とのふれあいの機会を設け、日々の活動の中で子どもたちの豊かな情操を育みました。(保育幼稚園課)
	食と農のふれあい推進事業費補助金(5件) 食育体験の経費補助を実施しました。(農水振興課) <実績額:407千円>	食と農のふれあい推進事業費補助金(8件) 食育体験の経費補助を実施しました。(農水振興課) <実績額:934千円>	食と農のふれあい推進事業費補助金(6件) 食育体験の経費補助を実施しました。(農水振興課) <実績額:650千円>
	市民菜園管理運営費(14園) 市が開設する市民菜園の管理運営を実施しました。(農業センター) <実績額:1,136千円>	市民菜園管理運営費(14園) 市が開設する市民菜園の管理運営を実施しました。(農業センター) <実績額:1,210千円>	市民菜園管理運営費(13園) 市が開設する市民菜園の管理運営を実施しました。(農業センター) <実績額:1,651千円>
	エコ工作・環境学習講座として、間伐材で工作する「間伐材うちわに絵をかこう」の講座を実施しました。[参加者93名] また、「自然観察会」「四日市の身近な自然調べ」を実施し、一般に向け、自然とのふれあいの場を設けました。[年間18回実施、参加者682人](四日市公害と環境未来館)	エコ工作・環境学習講座として「木のねんどで動物をつくろう」、「間伐材うちわに絵をかこう」、「カラフル落ち葉でしおり作り」、「まつぼっくりでクリスマスツリーをつくろう」、「どんぐりクリップづくり」といった自然素材を使用した工作を実施しました。[7回実施、参加者106名] また、一般に向け「自然観察会」[10回実施、参加者773人]、子どもたちの自然に対する興味喚起を目的に「身近な自然調べ」[9回実施(うち1回は台風接近のため中止)、参加者239名]を実施し、自然とのふれあいの場を設けました。(四日市公害と環境未来館)	エコ工作・環境学習講座として「木のねんどで動物をつくろう」、「間伐材うちわに絵をかこう」、「カラフル落ち葉でしおり作り」、「まつぼっくりでクリスマスツリーをつくろう」、「どんぐりクリップづくり」といった自然素材を使用した工作を実施しました。[7回実施、参加者106名] また、一般に向け「自然観察会」[10回実施、参加者773人]、子どもたちの自然に対する興味喚起を目的に「身近な自然調べ」[9回実施(うち1回は台風接近のため中止)、参加者239名]を実施し、自然とのふれあいの場を設けました。(四日市公害と環境未来館)
	公園内でのボランティア団体などのイベントに協力しています。(市街地整備・公園課)	公園内でのボランティア団体などのイベントに協力しています。(市街地整備・公園課)	公園内でのボランティア団体などのイベントに協力しています。(市街地整備・公園課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	市民センター事業として、ホテル、野菜、植物、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>	市民センター事業として、ホテル、野菜、植物、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>	市民センター事業として、野菜、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>
	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、朝明川の環境保全や生き物観察会を、同推進委員会「里山保全プロジェクト」の事業の中で、貴重な里山や緑の保全事業を実施・支援しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、朝明川の環境保全や生き物観察会を、同推進委員会「里山保全プロジェクト」の事業の中で、貴重な里山や緑の保全事業を実施・支援しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、朝明川の環境保全や生き物観察会を、同推進委員会「里山保全プロジェクト」の事業の中で、貴重な里山や緑の保全事業を実施・支援しました。(大矢知地区市民センター)
・酸性雨対策の一環として、低公害車の導入を進めるとともに、市民へ酸性雨に関する情報を提供する。	子どもを対象とした講座「松葉を使って大気汚染調査」を実施し、自分の地域の状況を知ってもらうとともに、改善についても考えてもらう機会を設けました。また、一般を対象に「車と環境～エコカーのしくみとその必要性～」講座を実施しました。[参加者63人](四日市公害と環境未来館)	子どもを対象とした講座「松葉で空気のごれ調べ！」を実施し、自分の地域の状況を知ってもらうとともに、改善についても考えてもらう機会を設けました。[参加者34名] 子どもたちの身近な環境に対する意識啓発を目的に、三菱自動車工業を講師とした講座「クルマと環境～電気自動車について知ろう～」[参加者39名]、「科学のびっくり箱！なぜなにレクチャー燃料電池自動車」[参加者46名]を実施しました。(四日市公害と環境未来館)	子どもを対象とした講座「松葉で空気のごれ調べ！」を実施し、自分の地域の状況を知ってもらうとともに、改善についても考えてもらう機会を設けました。[参加者11人] 子どもたちの環境科学に対する興味の育成を目的とし、小中学校生を対象として「こどもエコラボ」開催し酸性雨のを知る機会としました。「参加者36名」 (四日市公害と環境未来館)
<b>Ⅲ自然共生社会 2)自然と調和したまちの形成 ②一事業者として (環境計画P. 46)</b>			
・市民やNPOによる自然体験や学習会などへ参加・協力する。	NPOなど公園における自然体験や学習会などの関係を支援しています。(市街地整備・公園課)	NPOなど公園における自然体験や学習会などの関係を支援しています。(市街地整備・公園課)	NPOなど公園における自然体験や学習会などの関係を支援しています。(市街地整備・公園課)
・公共施設において緑のカーテンや、敷地の緑化を行う。 【再掲】	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計80箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてグリーンカーテンの普及啓発事業を全地区市民センターで実施しました。また、各公共施設でグリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計74箇所](環境保全課・各地区市民センター)	地球温暖化対策の一環としてゴーヤの苗を地区市民センター等の公共施設に配付し、グリーンカーテンの実施に取り組みました。[地区市民センター・小中学校・保育幼稚園等:計53箇所](環境保全課・各地区市民センター)
<b>Ⅳ快適生活環境社会 1)健康で安全な生活環境の確保 ①行政施策 (環境計画P. 52)</b>			

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・大気汚染対策を進める。	一般環境大気の監視については、市内7地点の測定局で常時監視測定を行っており、各測定局のデータはテレメーターシステムにより市役所中央監視局に収集され、大気汚染状況の把握及び市民への情報提供に利用しています。二酸化硫黄の濃度については、1976年(昭和51年)以降、三重県の定めた環境保全目標以下の良好な状態で推移しています。二酸化窒素の濃度についても、昨年度に引き続き、全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントの濃度については、環境基準を超えた時間数が測定局平均272時間となっており、平成29年度より減少しました。また、光化学スモッグ予報の発令はありませんでした。浮遊粒子状物質の濃度については、環境基準(長期的評価)を超えた測定局はありませんでした。県とも協調しながら、より一層の環境改善に努めていきます。(環境保全課) <実績額:合計45,644千円>	一般環境大気の監視については、市内7地点の測定局で常時監視測定を行っており、各測定局のデータはテレメーターシステムにより市役所中央監視局に収集され、大気汚染状況の把握及び市民への情報提供に利用しています。二酸化硫黄の濃度については、1976年(昭和51年)以降、三重県の定めた環境保全目標以下の良好な状態で推移しています。二酸化窒素の濃度についても、昨年度に引き続き、全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントの濃度については、環境基準を超えた時間数が測定局平均388時間となっており、平成30年度より増加しました。また、光化学スモッグ予報の発令が5回、注意報の発令が4回ありました。浮遊粒子状物質の濃度については、環境基準(長期的評価)を超えた測定局はありませんでした。県とも協調しながら、より一層の環境改善に努めていきます。(環境保全課) <実績額:合計49,212千円>	一般環境大気の状態把握等を行うために、市内7地点の測定局、自動車排出ガスによる大気環境への影響を確認するために、市内4地点の測定局で大気常時監視測定を行っています。各測定局のデータはテレメーターシステムにより市役所中央監視局に収集され、大気汚染状況の把握及び市民への情報提供等に利用しています。二酸化硫黄の濃度については、1976年(昭和51年)以降、三重県の定めた環境保全目標以下の良好な状態で推移しています。二酸化窒素についても、昨年度に引き続き、全ての測定局で環境基準を達成しました。光化学オキシダントについては、環境基準を超えた時間数が測定局平均293時間となっており、令和元年度より減少しました。浮遊粒子状物質については、環境基準(長期的評価)を超えた測定局はありませんでした。県とも協調しながら、より一層の環境改善に努めていきます。(環境保全課) <実績額:合計40,797千円>
	大気汚染防止法に基づき、市内事業場に立ち入るとともに排出ガス量が多い事業所について測定を行い、ボイラーの燃焼管理の状況把握に努めました。引き続き、発生源の監視に努めていきます。(環境保全課)	大気汚染防止法に基づき、市内事業場に立ち入るとともに排出ガス量が多い事業所について測定を行い、ボイラーの燃焼管理の状況把握に努めました。引き続き、発生源の監視に努めていきます。(環境保全課)	大気汚染防止法に基づき、市内事業場に立入調査を実施するとともに、排出ガス量が多い事業所について測定を行い、ボイラーの燃焼管理の状況把握等に努めました。引き続き、発生源の監視に努めていきます。(環境保全課)
	—	—	光化学スモッグ対策について、広報よっかいち(6月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)
	測定局の監視機器の老朽化に伴い、オキシダント計(南測定局)、二酸化硫黄計・浮遊粒子状物質計(三浜測定局、納屋測定局)、炭化水素計(楠測定局、納屋測定局)を更新しました。今後も計画的に機器の更新を進め、測定精度を確保していきます。(環境保全課)	測定局の監視機器の老朽化に伴い、オキシダント計(磯津測定局、北星高校測定局)、二酸化硫黄計・浮遊粒子状物質計(南測定局)を更新しました。今後も計画的に機器の更新を進め、測定精度を確保していきます。(環境保全課)	測定局の監視機器の老朽化に伴い、風向風速自動測定記録計(四日市商業高校測定局、北星高校測定局、納屋測定局)を更新しました。今後も計画的に機器の更新を進め、測定精度を確保していきます。(環境保全課)
	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく測定や大気汚染防止法に基づくばい煙等の測定を行いました。(上下水道局施設課、市立四日市病院)	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく測定や大気汚染防止法に基づくばい煙等の測定を行いました。(上下水道局施設課、市立四日市病院)	ダイオキシン類対策特別措置法に基づく測定や大気汚染防止法に基づくばい煙等の測定を行いました。(上下水道局施設課、市立四日市病院)
	—	大気汚染防止推進月間について、広報よっかいち(12月上旬号)で啓発を行いました。(広報マーケティング課)	—

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・水質汚濁対策を進める。	主要河川の水質監視については、国土交通省、三重県、四日市市が6河川、環境基準点7地点で水質測定(年12回)を行っていますが、代表的な汚濁指標である生物化学的酸素要求量(BOD)については、全地点で環境基準を達成しました。今後も国・県等の関係機関と連携し、水質汚濁状況の監視に努めます。(環境保全課)	主要河川の水質監視については、国土交通省、三重県、四日市市が6河川、環境基準点7地点で水質測定(年12回)を行っていますが、代表的な汚濁指標である生物化学的酸素要求量(BOD)については、全地点で環境基準を達成しました。今後も国・県等の関係機関と連携し、水質汚濁状況の監視に努めます。(環境保全課)	主要河川の水質監視については、国土交通省、三重県、四日市市が6河川、環境基準点7地点で水質測定(年12回)を行っていますが、代表的な汚濁指標である生物化学的酸素要求量(BOD)については、全地点で環境基準を達成しました。今後も国・県等の関係機関と連携し、水質汚濁状況の監視に努めます。(環境保全課)
	中小河川の水質監視については、12河川(12地点)で年4回測定しています。河川の水質監視については、工場排水のみでなく、生活排水の影響もあり、排水規制とともに、生活排水対策の推進等を進めていきます。(環境保全課)	中小河川の水質監視については、12河川(12地点)で年4回測定しています。河川の水質監視については、工場排水のみでなく、生活排水の影響もあり、排水規制とともに、生活排水対策の推進等を進めていきます。(環境保全課)	中小河川の水質監視については、12河川(12地点)で年4回測定しています。河川の水質監視については、工場排水のみでなく、生活排水の影響もあり、排水規制とともに、生活排水対策の推進等を進めていきます。(環境保全課)
	鈴鹿川流域の3市(本市、鈴鹿市、亀山市)で鈴鹿川浄化対策促進協議会を組織し、協力体制を強化して水質の保全を図っています。(環境保全課)	鈴鹿川流域の3市(本市、鈴鹿市、亀山市)で鈴鹿川浄化対策促進協議会を組織し、協力体制を強化して水質の保全を図っています。(環境保全課)	鈴鹿川流域の3市(本市、鈴鹿市、亀山市)で鈴鹿川浄化対策促進協議会を組織し、協力体制を強化して水質の保全を図っています。(環境保全課)
	海域の水質監視については、三重県が年12回、環境基準点4地点で調査をしています。代表的な汚濁指標である化学的酸素要求量(COD)の環境基準達成は1地点でした。(環境保全課)	海域の水質監視については、三重県が年12回、環境基準点4地点で調査をしています。代表的な汚濁指標である化学的酸素要求量(COD)について、全ての地点で環境基準を達成しました。(環境保全課)	海域の水質監視については、三重県が年12回、環境基準点4地点で調査をしています。代表的な汚濁指標である化学的酸素要求量(COD)の環境基準達成は3地点でした。(環境保全課)
	水質汚濁防止法、三重県生活環境の保全に関する条例、公害防止協定及び鈴鹿川浄化対策促進協議会の覚書に基づき、排水基準適用事業場等に対し92件の立入検査を行いました。検査の結果、1事業所で排水基準不適合がありました。引き続き発生源の監視に努め、適切な指導をしていきます。(環境保全課)	水質汚濁防止法、三重県生活環境の保全に関する条例、公害防止協定及び鈴鹿川浄化対策促進協議会の覚書に基づき、排水基準適用事業場等に対し94件の立入検査を行いました。立入調査の結果、2事業所で排水基準不適合がありました。引き続き発生源の監視に努め、適切な指導をしていきます。(環境保全課)	水質汚濁防止法、三重県生活環境の保全に関する条例、公害防止協定及び鈴鹿川浄化対策促進協議会の覚書に基づき、排水基準適用事業場等に対し73件の立入検査を行いました。立入調査の結果、排水基準不適合の事業所はありませんでした。引き続き発生源の監視に努めていきます。(環境保全課)
	公設の下水道浄化施設(日永浄化センター・コミュニティプラント・農業集落排水施設)水質分析を行いました。(上下水道局施設課)	公設の下水道浄化施設(日永浄化センター・コミュニティプラント・農業集落排水施設)水質分析を行いました。(上下水道局施設課)	公設の下水道浄化施設(日永浄化センター・コミュニティプラント・農業集落排水施設)水質分析を行いました。(上下水道局施設課)
	四日市大学等の協力により、竹谷川・大口川(海蔵川支流)で定期的に(年4回)水質調査を行いました。(県地区市民センター)	四日市大学等の協力により、竹谷川・大口川(海蔵川支流)で定期的に水質調査を行いました。(県地区市民センター)	四日市大学等の協力により、竹谷川・大口川(海蔵川支流)で定期的に水質調査を行いました。(県地区市民センター)
	汚水処理施設の2次処理放流水の水質検査を行いました。(食肉センター・食肉市場)	汚水処理施設の2次処理放流水の水質検査を行いました。(食肉センター・食肉市場)	汚水処理施設の2次処理放流水の水質検査を行いました。(食肉センター・食肉市場)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・公共下水道等への接続や、合併処理浄化槽の設置と適正な維持管理を進める。	<p>・合併処理浄化槽設置整備事業： 下水道認可区域外及び整備が当面見込めない地域において、生活排水による河川等の公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、143件（新築補助121件、転換補助22件）の合併処理浄化槽設置に対する補助を行いました。＜実績額：40,080千円＞（上下水道局生活排水課）</p> <p>平成30年度末における市域全体の生活排水に係る汚水衛生処理率は88.7%となっています。（上下水道局）</p>	<p>・合併処理浄化槽設置整備事業： 下水道認可区域外及び整備が当面見込めない地域において、生活排水による河川等の公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、155件（新築補助136件、転換補助19件）の合併処理浄化槽設置に対する補助を行いました。＜実績額：41,760千円＞（上下水道局生活排水課）</p> <p>令和元年度末における市域全体の生活排水に係る汚水衛生処理率は89.2%となっています。（上下水道局）</p>	<p>・合併処理浄化槽設置整備事業： 下水道認可区域外及び整備が当面見込めない地域において、生活排水による河川等の公共用水域の水質汚濁の防止を図るため、151件（新築補助123件、転換補助28件）の合併処理浄化槽設置に対する補助を行いました。＜実績額：44,190千円＞（上下水道局生活排水課）</p> <p>令和2年度末における市域全体の生活排水に係る汚水衛生処理率は89.8%となっています。（上下水道局）</p>
	市の総合計画に基づき、公共下水道の整備を進めました。[平成30年度末の下水道普及率(人口比)は、78.4%となりました。]公共下水道整備、合併処理浄化槽設置、農業集落排水事業、コミュニティプラント整備を推進しました。（上下水道局経営企画課）	市の総合計画に基づき、公共下水道の整備を進めました。[令和元年度末の下水道普及率(人口比)は、79%となりました。]公共下水道整備、合併処理浄化槽設置、農業集落排水事業、コミュニティプラント整備を推進しました。（上下水道局経営企画課）	市の総合計画に基づき、公共下水道の整備を進めました。[令和元年度末の下水道普及率(人口比)は、80%となりました。]公共下水道整備、合併処理浄化槽設置、農業集落排水事業、コミュニティプラント整備を推進しました。（上下水道局経営企画課）
	「下水道普及促進事業」未水洗化家屋を各戸訪問して啓発を行い、市内2カ所での水洗化無料相談会を開催しました。また、生活排水PR版(広報よっかいち8月下旬号別冊)の作成、下水道普及促進ポスターコンクールなどを通じて啓発に努めています。また24年度から始めたらくらく水洗化積立制度の奨励金交付を30年度は28件の交付を行いました。（上下水道局生活排水課） ＜実績額：3,034千円＞	「下水道普及促進事業」未水洗化家屋の4,791件に各戸訪問し接続依頼を行い、市内ショッピングセンター2カ所で生活排水対策キャンペーン実施しました。また、生活排水特集号(広報よっかいち8月下旬号別冊)の作成、下水道普及促進ポスターコンクールなどを通じて啓発に努めています。また、平成24年度から始めたらくらく水洗化積立制度の奨励金交付を令和元年度は35件行いました。（上下水道局生活排水課） ＜実績額：2,776千円＞	公共下水道供用開始区域の未水洗家屋の3,983件を各戸訪問し接続依頼と現地確認を行い、汲み取り62件・単独浄化槽225件・合併浄化槽336件が公共下水道への切替えを行いました。（上下水道局生活排水課）
	<p>・浄化槽維持管理啓発業務委託： 法定検査未受検の浄化槽の管理者宅を各戸訪問して維持管理の必要性や汲取便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換等についての啓発を行いました。 ＜実績額：10,743千円＞</p> <p>・合併浄化槽水質浄化促進事業： 法定検査に合格した合併処理浄化槽を管理する市民への維持管理費補助(4,707件)を行いました。（上下水道局生活排水課） ＜実績額：39,395千円＞</p>	<p>・浄化槽維持管理啓発業務委託： 法定検査未受検の浄化槽の管理者宅を各戸訪問して維持管理の必要性や汲取便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換等についての啓発を行いました。 訪問件数：6,315件(うち汲み取り便槽啓発件数423件) ＜実績額：10,843千円＞</p> <p>・合併浄化槽水質浄化促進事業： 法定検査に合格した合併処理浄化槽を管理する市民への維持管理費補助(4,806件)を行いました。（上下水道局生活排水課） ＜実績額：40,156千円＞</p>	<p>・浄化槽維持管理啓発業務委託： 法定検査未受検の浄化槽の管理者宅を各戸訪問して維持管理の必要性や汲取便所・単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換等についての啓発を行いました。 訪問件数：8,471件(うち単独処理浄化槽転換啓発件数430件) ＜実績額：11,110千円＞</p> <p>・合併浄化槽水質浄化促進事業： 法定検査に合格した合併処理浄化槽を管理する市民への維持管理費補助(4,893件)を行いました。（上下水道局生活排水課） ＜実績額：40,833千円＞</p>

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	農業集落排水事業において汚水(し尿及び雑排水)を処理している地区(県、小牧南、狭間、水沢中部、小西、水沢東、水沢野田、水沢東部、堂ヶ山、北小松、鹿間、和無田)で、農業用排水施設の適正な機能維持及び農村の生活環境の改善、公共用水域の水質保全に努めました。(上下水道局施設課)	農業集落排水事業において汚水(し尿及び雑排水)を処理している地区(県、小牧南、狭間、水沢中部、小西、水沢東、水沢野田、水沢東部、堂ヶ山、北小松、鹿間、和無田)で、農業用排水施設の適正な機能維持及び農村の生活環境の改善、公共用水域の水質保全に努めました。(上下水道局施設課)	農業集落排水事業において汚水(し尿及び雑排水)を処理している地区(県、小牧南、狭間、水沢中部、小西、水沢東、水沢野田、水沢東部、堂ヶ山、北小松、鹿間、和無田)で、農業用排水施設の適正な機能維持及び農村の生活環境の改善、公共用水域の水質保全に努めました。(上下水道局施設課)
	市街化区域内の下水道(汚水)整備を進めており、平成30年度末での整備面積は約4,713ha、整備人口は244,210人でした。(上下水道局下水建設課)	市街化区域内の下水道(汚水)整備を進めており、令和元年度末での整備面積は約4,775ha、整備人口は246,083人でした。(上下水道局下水建設課)	市街化区域内の下水道(汚水)整備を進めており、令和2年度末での整備面積は約4,783ha、整備人口は248,436人でした。(上下水道局下水建設課)
	合併処理浄化槽の定期的な検査を受け、適正な維持管理に努めました。(各地区市民センター)	合併処理浄化槽の定期的な検査を受け、適正な維持管理に努めました。(各地区市民センター)	合併処理浄化槽の定期的な検査を受け、適正な維持管理に努めました。(各地区市民センター)
・騒音・振動・悪臭対策を進める。	平成30年度の特定建設作業実施届出について、騒音規制法に基づく届出が135、振動規制法に基づく届出が114、三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出が延べ69件でした。(環境保全課)	令和元年度の特定建設作業実施届出について、騒音規制法に基づく届出が118件、振動規制法に基づく届出が86件、三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出が延べ56件でした。(環境保全課)	令和2年度の特定建設作業実施届出について、騒音規制法に基づく届出が151件、振動規制法に基づく届出が111件、三重県生活環境の保全に関する条例に基づく届出が延べ99件でした。(環境保全課)
・土壌・地盤環境を保全する。	地下水質については、市内を2.5kmのメッシュ(16メッシュ)に区切り、3カ年計画で市内全域において概況調査を行っています。平成30年度は市内5ヶ所で調査を実施したが、そのうち1地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が基準を超えて検出されました。その他の項目については、全地点で環境基準を満たしていました。(環境保全課)	地下水質については、市内を2.5kmのメッシュ(16メッシュ)に区切り、3カ年計画で市内全域において概況調査を行っています。令和元年度は市内5ヶ所で調査を実施しましたが、そのうち1地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が基準を超えて検出されました。その他の項目については、全地点で環境基準を満たしていました。(環境保全課)	地下水質については、市内を2.5kmのメッシュ(16メッシュ)に区切り、3カ年計画で市内全域において概況調査を行っています。令和2年度は市内5ヶ所で調査を実施しましたが、そのうち1地点で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が、他の1地点でひ素が基準を超えて検出されました。その他の項目については、全地点で環境基準を満たしていました。(環境保全課)
	ゴルフ場排水に含まれる農薬等の水質検査にかかる指導指針、及び鈴鹿川浄化対策促進協議会の覚書に基づき、市内3ゴルフ場(ゴルフ5カントリー四日市コース、名四カントリークラブ、四日市カントリー倶楽部)に立ち入り、農薬6品目、全窒素、全リンについて排水の検査を実施しました。検査の結果、鈴鹿川浄化対策推進協議会との覚書における目標値及び環境省の指針値、三重県の管理目標値を満たしていました。(環境保全課)	ゴルフ場排水に含まれる農薬等の水質検査にかかる指導指針、及び鈴鹿川浄化対策促進協議会の覚書に基づき、市内3ゴルフ場(ゴルフ5カントリー四日市コース、グレイスヒルズカントリー倶楽部、四日市の里ゴルフクラブ)に立ち入り、農薬8品目、全窒素、全リンについて排水の検査を実施しました。検査の結果、鈴鹿川浄化対策推進協議会との覚書における目標値及び環境省の指針値、三重県の管理目標値を満たしていました。(環境保全課)	ゴルフ場排水に含まれる農薬等の水質検査にかかる指導指針、及び鈴鹿川浄化対策促進協議会の覚書に基づき、市内3ゴルフ場(ゴルフ5カントリー四日市コース、名四カントリークラブ、四日市カントリー倶楽部)に立ち入り、農薬8品目、全窒素、全リンについて排水の検査を実施しました。検査の結果、鈴鹿川浄化対策推進協議会との覚書における目標値及び環境省の指針値、三重県の管理目標値を満たしていました。(環境保全課)
	土壌汚染については、土壌汚染対策法及び三重県生活環境の保全に関する条例に基づき指導するとともに、調査測定等の情報を提供しています。(環境保全課)	土壌汚染については、土壌汚染対策法及び三重県生活環境の保全に関する条例に基づき指導するとともに、調査測定等の情報を提供しています。(環境保全課)	土壌汚染については、土壌汚染対策法及び三重県生活環境の保全に関する条例に基づき指導するとともに、調査測定等の情報を提供しています。(環境保全課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	平成30年度の地盤沈下の状況については、令和元年10月頃に三重県より報告書が送付されます。(環境保全課)	令和元年度の地盤沈下の状況については、令和2年10月頃に三重県より報告書が送付されます。(環境保全課)	令和2年度の地盤沈下の状況については、令和3年10月頃に三重県より報告書が送付されます。(環境保全課)
・有害化学物質による汚染を防止する。	PCBを適正に管理し、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、三重県知事に保管状況を報告しています。(管財課、保育幼稚園課、生活環境課、道路整備課、スポーツ課、教育施設課、上下水道局、市立四日市病院)	PCBを適正に管理し、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、三重県知事に保管状況を報告しています。(管財課、保育幼稚園課、生活環境課、道路維持課、スポーツ課、教育施設課、上下水道局、市立四日市病院)	PCBを適正に管理し、ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法に基づき、三重県知事に保管状況を報告しています。(管財課、保育幼稚園課、生活環境課、道路維持課、スポーツ課、教育施設課、上下水道局、市立四日市病院)
	有害大気汚染物質対策として、四日市商業高校、三浜小学校及び北星高校の市内3ヶ所で、測定マニュアルの定められている21物質について、モニタリング調査を実施しました。平成30年度の測定結果では、ベンゼン等の指定物質について、環境基準を超えたものはありませんでした。(環境保全課)	有害大気汚染物質対策として、四日市商業高校、三浜小学校及び北星高校の市内3ヶ所で、測定マニュアルの定められている21物質について、モニタリング調査を実施しました。令和元年度の測定結果では、ベンゼン等の指定物質について、環境基準を超えたものはありませんでした。(環境保全課)	有害大気汚染物質対策として、四日市商業高校、三浜小学校及び北星高校の市内3ヶ所で、測定マニュアルの定められている21物質について、モニタリング調査を実施しました。令和2年度の測定結果では、ベンゼン等の指定物質について、環境基準を超えたものはありませんでした。(環境保全課)
	既存建築物などの解体工事等において、事前に石綿の含有を調査し、計画に基づいた適正な処理を行うようホームページに資料を掲載し、周知に努めました。(建築指導課)	既存建築物などの解体工事等において、事前に石綿の含有を調査し、計画に基づいた適正な処理を行うようホームページに資料を掲載し、周知に努めました。(建築指導課)	既存建築物などの解体工事等において、事前に石綿の含有を調査し、計画に基づいた適正な処理を行うようホームページに資料を掲載し、周知に努めました。(建築指導課)
・産業公害を指導強化して未然に防ぐ。	住民の生活環境を保全し、きめの細かい公害防止対策を推し進めるため、石油化学コンビナートを中心に44社と公害防止協定を締結しています。(環境保全課)	住民の生活環境を保全し、きめの細かい公害防止対策を推し進めるため、石油化学コンビナートを中心に45社と公害防止協定を締結しています。(環境保全課)	住民の生活環境を保全し、きめの細かい公害防止対策を推し進めるため、石油化学コンビナートを中心に45社と公害防止協定を締結しています。(環境保全課)
・騒音、悪臭、日照被害の対策など近隣公害を防止する。	悪臭防止法に基づき、悪臭苦情の多いコンビナート周辺で昼夜パトロールを行い、6段階臭気強度による悪臭調査を実施し、環境監視を行うとともに、工場に対しても対策についての指導を行いました。(環境保全課)	悪臭防止法に基づき、悪臭苦情の多いコンビナート周辺で昼夜パトロールを行い、6段階臭気強度による悪臭調査を実施し、環境監視を行うとともに、工場に対しても対策についての指導を行いました。(環境保全課)	悪臭防止法に基づき、悪臭苦情の多いコンビナート周辺等で昼夜パトロールを行い、6段階臭気強度による悪臭調査を実施し、環境監視を行うとともに、事業者に対して悪臭対策についての指導を行いました。(環境保全課)
	—	—	所管施設の空調更新では、内蔵のガス圧縮機の出力が小さいものを選定することで騒音対策に取り組んだ。(健康福祉課、社会福祉協議会)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	中高層建築物等の建築に伴って生ずる日照、通風及び採光の阻害、風害、電波障害等並びに工事中の騒音、振動等の周辺的生活環境に及ぼす影響に関する近隣関係住民と建築主との間の紛争を予防するため、四日市市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づき建築計画の事前公開・説明会開催等を求め、標識設置届を受け付けるなど紛争予防のための必要な措置を建築主等へ要請しました。 [平成30年度標識設置届出件数 53件](建築指導課)	中高層建築物等の建築に伴って生ずる日照、通風及び採光の阻害、風害、電波障害等並びに工事中の騒音、振動等の周辺的生活環境に及ぼす影響に関する近隣関係住民と建築主との間の紛争を予防するため、四日市市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づき建築計画の事前公開・説明会開催等を求め、標識設置届を受け付けるなど紛争予防のための必要な措置を建築主等へ要請しました。 [令和元年度標識設置届出件数 48件](建築指導課)	中高層建築物等の建築に伴って生ずる日照、通風及び採光の阻害、風害、電波障害等並びに工事中の騒音、振動等の周辺的生活環境に及ぼす影響に関する近隣関係住民と建築主との間の紛争を予防するため、四日市市中高層建築物等の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例に基づき建築計画の事前公開・説明会開催等を求め、標識設置届を受け付けるなど紛争予防のための必要な措置を建築主等へ要請しました。 [令和2年度標識設置届出件数 45件](建築指導課)
・パトロールや監視体制の強化、投棄者への指導などにより不法投棄を防止する。	不法投棄を未然に防止するため、平成30年度は監視カメラを1台設置し累計24台設置しています。また、平日だけではなく、休日にもパトロールを実施するとともに、発見した不法投棄物については早期回収に努めました。[平成30年度は不法投棄1,744件(33t)を発見し、回収・調査して、投棄者を指導するとともに悪質なものについては警察と連携して対応しました。](生活環境課) <実績額:21,299千円>	不法投棄を未然に防止するため、令和元年度は監視カメラを1台設置し累計25台設置しています。また、平日だけではなく、休日にもパトロールを実施するとともに、発見した不法投棄物については早期回収に努めました。[令和元年度は不法投棄1,530件(26t)を発見し、回収・調査して、投棄者を指導するとともに悪質なものについては警察と連携して対応しました。](生活環境課) <実績額:24,148千円>	不法投棄を未然に防止するため、令和2年度は監視カメラを4台設置し累計29台設置しています。また、平日だけではなく、休日にもパトロールを実施するとともに、発見した不法投棄物については早期回収に努めました。[令和2年度は不法投棄1,040件(13t)を発見し、回収・調査して、投棄者を指導するとともに悪質なものについては警察と連携して対応しました。](生活環境課) <実績額:30,744千円>
	—	不法投棄の防止に向けて、広報よっかいち(3月下旬号)で啓発を行いました。(生活環境課、広報マーケティング課)	—
・廃棄物の不法焼却対策を進める。	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により野外焼却や基準に適合しない小型焼却炉を使用したごみの焼却は禁止されていることから、市民から通報等があった際には、現地確認を行い、法律に違反している場合は行為者に対して指導等を行いました。(生活環境課)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により野外焼却や基準に適合しない小型焼却炉を使用したごみの焼却は禁止されていることから、市民から通報等があった際には、現地確認を行い、法律に違反している場合は行為者に対して指導等を行いました。(生活環境課)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律により野外焼却や基準に適合しない小型焼却炉を使用したごみの焼却は禁止されていることから、市民から通報等があった際には、現地確認を行い、法律に違反している場合は行為者に対して指導等を行いました。(生活環境課)
IV快適生活環境社会 1)健康で安全な生活環境の確保 ②意識や行動面(一事業者として)(環境計画P.48)			
・自動車利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車を利用する。【再掲】	移動の際には、自動車利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車を利用するよう心がけました。(全庁)	移動の際には、自動車利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車を利用するよう心がけました。(全庁)	移動の際には、自動車利用をできるだけ控え、公共交通機関や自転車を利用するよう心がけました。(全庁)
・普段からエコドライブに心がける。【再掲】	公用車の利用に際し、省エネに心がけました。(全庁)	公用車の利用に際し、省エネに心がけました。(全庁)	公用車の利用に際し、省エネに心がけました。(全庁)
	急発進、急ブレーキをしないように安全運転に努めています。(全庁)	急発進、急ブレーキをしないように安全運転に努めています。(全庁)	急発進、急ブレーキをしないように安全運転に努めています。(全庁)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	各署・各課において近隣への立入検査や訓練指導時は、公用車を使用せず、徒歩又は自転車での出向を心がけました。(消防本部)	各署・各課において近隣への立入検査や訓練指導時は、公用車を使用せず、徒歩又は自転車での出向を心がけました。(消防本部)	各署・各課において近隣への立入検査や訓練指導時は、公用車を使用せず、徒歩又は自転車での出向を心がけました。(消防本部)
<b>IV 快適生活環境社会 1) 健康で安全な生活環境の確保 ③ 建物や設備面(一事業者として) (環境計画P. 52)</b>			
・PHVやEVなど低公害車を導入する。【再掲】	一元管理公用車の導入(車両の入替)に当たっては、可能な限り、低排出ガス車・低燃費車の導入を図っています。(管財課)	一元管理公用車の導入(車両の入替)に当たっては、可能な限り、低排出ガス車・低燃費車の導入を図っています。(管財課)	一元管理公用車の導入(車両の入替)に当たっては、可能な限り、低排出ガス車・低燃費車の導入を図っています。(管財課)
	—	課で所有する2台の車両について、低燃費車両(令和2年度燃費基準50%向上達成車)を導入しました。(資産税課)	課で所有する2台の車両について、低燃費車両(令和2年度燃費基準50%以上向上達成車)を使用しています。(資産税課)
・節水、雨水・再生水利用などの効率的な水利用を進める。【再掲】	雨水貯留タンクを設置し、貯まった雨水をゴーヤや花壇の水やりに利用するなど、効率的な水利用に取り組み、水道使用量が軽減できました。(各地区市民センター)	雨水貯留タンクを設置し、貯まった雨水をゴーヤや花壇の水やりに利用するなど、効率的な水利用に取り組み、水道使用量が軽減できました。(各地区市民センター)	雨水貯留タンクを設置し、貯まった雨水をゴーヤや花壇の水やりに利用するなど、効率的な水利用に取り組み、水道使用量が軽減できました。(各地区市民センター)
<b>IV 快適生活環境社会 2) 公害健康被害対策の継続 ① 行政施策 (環境計画P. 52)</b>			
・公害健康被害者に対し、法律に基づく補償給費を適正に実施する。	公害健康被害の補償等に関する法律により7種類の補償給付を実施しています。「療養の給付及び療養費」「療養手当」「障害補償費」「遺族補償費」「遺族補償一時金」「葬祭料」で平成30年度は合計で500,533千円の補償給付を行いました。(環境保全課)	公害健康被害の補償等に関する法律により7種類の補償給付を実施しています。「療養の給付及び療養費」「療養手当」「障害補償費」「遺族補償費」「遺族補償一時金」「葬祭料」で令和元年度は合計で498,945千円の補償給付を行いました。(環境保全課)	公害健康被害の補償等に関する法律により7種類の補償給付を実施しています。「療養の給付及び療養費」「療養手当」「障害補償費」「遺族補償費」「遺族補償一時金」「葬祭料」で令和2年度は合計で458,187千円の補償給付を行いました。(環境保全課)
	医師の講話及び呼吸器リハビリテーション、音楽療法、ノルディックウォーキング等の実技を行う「日帰りリハビリテーション事業」を実施しています。平成30年度は、のべ16名の参加がありました。(環境保全課)	医師の講話及び呼吸器リハビリテーション、音楽療法、ノルディックウォーキング等の実技を行う「日帰りリハビリテーション事業」を実施しています。令和元年度は、のべ14名の参加がありました。(環境保全課)	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度の日帰りリハビリテーション事業は中止しました。(環境保全課)
・公害健康被害者の健康の回復、保持、増進に努める。	緑の多い郊外で宿泊しながら療養し、医師の健診や呼吸器リハビリテーション、音楽療法等を行う1泊2日のリハビリテーション事業を付添者の参加を可能にするとともに休日に変更し、実施しています。平成30年度は対象者6名付添者2名の参加がありました。(環境保全課)	令和元年度から中止。(環境保全課)	令和元年度から中止。(環境保全課)
	対象者が、予防接種を受けた際に自己負担分の助成を行う「インフルエンザ予防接種費用助成」事業を実施しています。平成30年度は151名に助成を行いました。(環境保全課)	対象者が、予防接種を受けた際に自己負担分の助成を行う「インフルエンザ予防接種費用助成」事業を実施しています。令和元年度は159名に助成を行いました。(環境保全課)	対象者が、予防接種を受けた際に自己負担分の助成を行う「インフルエンザ予防接種費用助成」事業を実施しています。令和2年度は四日市市在住の65歳以上の接種費用が無料になったため、自己負担が生じた78名に対し、助成を行いました。(環境保全課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・公害による健康被害の予防に努める。	平成30年度は市内在住の被認定者のべ406名に対し、保健師が訪問等により療養指導を行いました。(環境保全課)	令和元年度は市内在住の被認定者のべ419名に対し、保健師が訪問等により療養指導を行いました。(環境保全課)	令和2年度は市内在住の被認定者のべ392名に対し、保健師が訪問等により療養指導を行いました。(環境保全課)
	アレルギー素因児、アレルギー疾患歴のある児、アレルギー疾患に漠然とした心配のある児に対し、医師による診察及び保健師、栄養士等による日常生活の助言を行う「環境保健健康診査事業」を実施しています。平成30年度は89名の参加がありました。(環境保全課)	アレルギー素因児、アレルギー疾患歴のある児、アレルギー疾患に漠然とした心配のある児に対し、医師による診察及び保健師、栄養士等による日常生活の助言を行う「環境保健健康診査事業」を実施しています。令和元年度は118名の参加がありました。(環境保全課)	アレルギー素因児、アレルギー疾患歴のある児、アレルギー疾患に漠然とした心配のある児に対し、医師による診察及び保健師、栄養士等による日常生活の助言を行う「環境保健健康診査事業」を実施し、令和2年度は38名の参加がありました。また、令和2年度から子育て支援センターにおけるアレルギー健康相談事業を新規に実施し、37名の参加がありました。(環境保全課)
	環境保健サーベイランス調査事業として、環境省より委託を受け、3歳児及び6歳児を対象とした呼吸器系疾患の調査を実施しています。(環境保全課)	環境保健サーベイランス調査事業として、環境省より委託を受け、3歳児及び6歳児を対象とした呼吸器系疾患の調査を実施しています。(環境保全課)	環境保健サーベイランス調査事業として、環境省より委託を受け、3歳児及び6歳児を対象とした呼吸器系疾患の調査を実施しています。(環境保全課)
	市民に対して、気管支ぜん息及びCOPD(慢性閉塞性肺疾患)の発症予防、適切な治療、重症化予防をテーマとした「ぜん息予防等講演会」を実施しています。平成30年度は78名の参加がありました。また、併せて肺機能測定検査を実施し、53名の参加がありました。(環境保全課)	市民に対して、アトピー性皮膚炎・食物アレルギー・気管支ぜん息等アレルギー疾患の発症予防、適切な治療、重症化予防をテーマとした「ぜん息予防等講演会」を実施しています。令和元年度は56名の参加がありました。また、併せて肺機能測定検査を実施し、36名の参加がありました。(環境保全課)	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度のぜん息予防等講演会および肺機能測定検査は中止しました。(環境保全課)
	ぜん息が気になる、ぜん息症状がある児童及びその家族を対象に、ぜん息の理解、コントロールを目指してチャレンジ・デイキャンプを実施しています。平成30年度は、のべ180名の参加がありました。(環境保全課)	ぜん息が気になる、ぜん息症状が心配な児童及びその家族を対象に、ぜん息の理解、コントロールを目指してチャレンジ・デイキャンプを実施しています。令和元年度は、のべ154名の参加がありました。(環境保全課)	新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度のチャレンジ・デイキャンプは中止しました。(環境保全課)
<b>V 環境共創社会 1) 創造的環境活動の推進 ①行政施策 (環境計画P. 56)</b>			
・環境に配慮した商品やサービスをPRするなど事業者の取り組みを支援する。	「かんきょう四日市」のホームページを随時更新し、環境に関する情報の提供を継続して行っています。(環境保全課)	「かんきょう四日市」のホームページを随時更新し、環境に関する情報の提供を継続して行っています。(環境保全課)	「かんきょう四日市」のホームページを随時更新し、環境に関する情報の提供を継続して行っています。(環境保全課)
	エコパートナーに登録している団体の活動紹介をするホームページを改良しました。[紹介団体数51団体](四日市公害と環境未来館)	常設展示内や図書コーナーで企業の環境レポートを紹介、閲覧できるようにしています。(四日市公害と環境未来館)	常設展示内や図書コーナーで企業の環境レポートを紹介、閲覧できるようにしています。(四日市公害と環境未来館)
	水道週間、水の日・水の週間、消費生活展などの機会を捉えて、水資源の貴重さや水道の啓発PRを行いました。(上下水道局総務課)	水道週間、水の日・水の週間、消費生活展などの機会を捉えて、水資源の貴重さや水道の啓発PRを行いました。(上下水道局総務課)	水道週間、水の日・水の週間、消費生活展などの機会を捉えて、水資源の貴重さや水道の啓発PRを行いました。(上下水道局総務課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・環境活動に関する活動拠点を提供し、人材交流を進める。	「熟年大学」の講義に四日市の自然(里山、身近な川の生き物)や、地球環境とくらし、農業の視点から自然との共生を考えるもののほか、イーエムを使った環境保全ボランティアの活動を学ぶなど、さまざまな角度から環境に関する学習機会を提供しました。(文化振興課) <実績額:(総事業費2,375千円)>	「熟年大学」の講義に四日市の自然(里山、身近な川の生き物)や、地球環境とくらし、農業の視点から自然との共生を考えるもののほか、イーエムを使った環境保全ボランティアの活動を学ぶなど、さまざまな角度から環境に関する学習機会を提供しました。(文化振興課) <実績額:(総事業費2,351千円)>	「熟年大学」の講義に四日市の自然(里山、身近な川の生き物)や、地球環境とくらし、農業の視点から自然との共生を考えるもののほか、イーエムを使った環境保全ボランティアの活動を学ぶなど、さまざまな角度から環境に関する学習機会を提供しました。(文化振興課) <実績額:(総事業費1,799千円)>
	・じばさん三重に四日市公害と環境未来館活動室を設け、四日市市の環境計画に沿う活動を行うエコパートナーが活動できる場所として活用しています。(四日市公害と環境未来館)	じばさん三重に四日市公害と環境未来館活動室を設け、四日市市の環境計画に沿う活動を行うエコパートナーが活動できる場所として活用しています。(四日市公害と環境未来館)	じばさん三重に四日市公害と環境未来館活動室を設け、四日市市の環境計画に沿う活動を行うエコパートナーが活動できる場所として活用しています。(四日市公害と環境未来館)
・活動助成、表彰、交流など市民活動や地域活動に取り組みやすい場づくりを進める。	「四日市市市民文化事業支援補助金」として、市民が自ら行う文化事業を支援するものであるが、補助申請の事業計画書の中に、環境への配慮等を記入する欄を設け、意識付けを行いました。(文化振興課) <実績額:1,389千円>	「四日市市市民文化事業支援補助金」として、市民が自ら行う文化事業を支援するものであるが、補助申請の事業計画書の中に、環境への配慮等を記入する欄を設け、意識付けを行いました。(文化振興課) <実績額:999千円>	「四日市市市民文化事業支援補助金」として、市民が自ら行う文化事業を支援するものであるが、補助申請の事業計画書の中に、環境への配慮等を記入する欄を設け、意識付けを行いました。(文化振興課) <実績額:23千円>
	エコパートナーの交流会を2回実施し、エコパートナー同士の交流を進めました。また、平成30年12月1日には「環境フェア」を実施しました。グリーンカーテンフォトコンテスト表彰式や、四日市市環境活動賞の表彰式も同時に行いました。[来場者数689人](四日市公害と環境未来館)	エコパートナーの交流活性化を目的に交流会を実施しました[年2回実施、参加人数のべ66人]。また、令和元年12月7日に「四日市市環境フェア」を実施しました。グリーンカーテンフォトコンテスト表彰式や四日市市環境活動表彰式、小中学生による公害・環境に関する研究発表会を併せて開催しました。[来場者数450人](四日市公害と環境未来館)	エコパートナーの交流会を2回実施し、エコパートナー同士の交流を進めました。コロナ禍のため例年開催していた「環境フェア」は中止としました。(四日市公害と環境未来館)
	「下水道普及促進事業」未水洗化家屋を各戸訪問して啓発を行い、市内2カ所での水洗化無料相談会を開催しました。また、生活排水PR版(広報よっかいち8月下旬別冊)の作成、下水道普及促進ポスターコンクールなどを通じて啓発に努めています。また24年度から始めたらくらく水洗化積立制度の奨励金交付を30年度は28件の交付を行いました。(上下水道局生活排水課) <実績額:3,034千円>	「下水道普及促進事業」未水洗化家屋の4,791件に各戸訪問し接続依頼を行い、市内ショッピングセンター2カ所での生活排水対策キャンペーン実施しました。また、生活排水特集号(広報よっかいち8月下旬別冊)の作成、下水道普及促進ポスターコンクールなどを通じて啓発に努めています。また、平成24年度から始めたらくらく水洗化積立制度の奨励金交付を令和元年度は35件行いました。(上下水道局生活排水課) <実績額:2,776千円>	「下水道普及促進事業」例年生活排水対策キャンペーンを市内ショッピングセンターで実施していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施を見送りました。下水道普及促進ポスターコンクールの入賞作品を市内ショッピングセンターで展示し、併せて下水道のパフレットを自由に持ち帰ってもらうように設置し、啓発に努めました。(上下水道局生活排水課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
技術開発支援、産学連携など様々なネットワークの形成を支援する。	「国指定天然記念物御池沼沢植物群落自然観察会」よっかいち緑の会と共催で、5月から10月の間に月1回観察会を実施し、市民と情報共有を行うとともに、その成果を市のホームページで紹介しました。また、ボランティアを一般募集したり、地元団体、学校と協働するなどして環境改善作業を行いました。(社会教育課)	「国指定天然記念物御池沼沢植物群落自然観察会」では、四日市市自然保護推進委員会の会員に講師を依頼して、6,8,10月に各1回観察会を実施し、市民と情報共有を行うとともに、その成果を市のホームページで紹介しました。また、ボランティアを一般募集したり、地元団体、学校と協働するなどして環境改善作業を行いました。(社会教育・文化財課)	「国指定天然記念物御池沼沢植物群落自然観察会」では、四日市市自然保護推進委員会の会員に講師を依頼して、6月は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により中止しましたが、8,10月に各1回観察会を実施し、市民と情報共有を行うとともに、その成果を市のホームページで紹介しました。また、ボランティアを一般募集したり、地元団体と協働したりするなどして環境改善作業を行いました。(社会教育・文化財課)
・ICETTによる国際教育、姉妹都市・友好都市との交流など国際的なネットワークを形成する。	国際的な視野から次代を担う青少年が、環境問題等(地球温暖化)について学ぶ機会を提供するため、姉妹都市・ロングビーチ市や友好都市・天津市、本市の高校生を対象に環境保全課が実施している「次世代環境人材育成事業」(8月)に国際交流基金を充当し、支援しました。また、天津市からの環境技術研究員受け入れ(11月)についても、引き続き人的支援を行いました。(秘書国際課) <実績額:(国際交流基金充当額)1,367千円>	国際的な視野から次代を担う青少年が、環境問題等(地球温暖化)について学ぶ機会を提供するため、姉妹都市・ロングビーチ市や友好都市・天津市、本市の高校生を対象に環境保全課が実施している「次世代環境人材育成事業」(7-8月)に国際交流基金を充当し、支援しました。また、天津市からの環境技術研究員受け入れ(11月)についても、引き続き人的支援を行いました。(秘書国際課) <実績額:(国際交流基金充当額)1,351千円>	国際的な視野から次代を担う青少年が、環境問題等(地球温暖化)について学ぶ機会を提供するため、姉妹都市・ロングビーチ市や友好都市・天津市、本市の高校生を対象に環境保全課が実施している「次世代環境人材育成事業」(11月)に国際交流基金を充当し、支援しました。(秘書国際課) <実績額:(国際交流基金充当額)240千円>
	友好都市・姉妹都市の高校生と市内の高校生との国際環境交流として地球環境塾を実施しました。 [参加者12名](環境保全課) <実績額:3,482千円>	友好都市・姉妹都市の高校生と市内の高校生との国際環境交流として地球環境塾を実施しました。 [参加者12名](環境保全課) <実績額:3,800千円>	友好都市・姉妹都市及び本市の高校生が交流しながら環境について学び合う「高校生地球環境塾」について、新型コロナウイルス感染症の影響により過去の参加者を対象にオンラインで開催しました。 [参加者13名](環境保全課) <実績額:990千円>
<b>V 環境共創社会 2) 環境に関する情報発信と教育・学習の充実 ①行政施策 (環境計画P. 57)</b>			
・環境に関する市民や事業者の意識や取り組み、社会的な動向など幅広い情報収集を行う。	市政アンケートで、市の環境施策に対する市民の満足度や期待など、意識の把握に努めました。(広報マーケティング課)	市政アンケートで、市の環境施策に対する市民の満足度や期待など、意識の把握に努めました。(広報マーケティング課)	市政アンケートで、市の環境施策に対する市民の満足度や期待など、意識の把握に努めました。(広報マーケティング課)
	三重県が開催する勉強会等を通じ、メガソーラーをはじめメタンハイドレート、水素エネルギーなど、新エネルギー政策の推進に向けた調査・研究に取り組みました。(政策推進課)	新エネルギーの推進に向けた情報収集や調査に取り組むとともに、民間企業が進める定置式水素ステーションの設置に関する動向について関係部局と情報共有をはかりました。(政策推進課)	低炭素水素に関する勉強会を通じて先進事例について情報収集を行うなど、新エネルギーの推進に向けた情報収集や調査に取り組みました。(政策推進課)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
・年次報告書の公開やポータルサイトの充実など環境に関する情報を分かりやすく発信する。	プラネタリウムにおいて、宇宙から見た地球を通して地球環境について解説を行い、大切な地球を考えるきっかけとなりました。自主制作番組として、国際宇宙ステーションから昼と夜の地球を眺めながら、未来の地球について思いを馳せる「THE EARTH～宇宙から見た地球」の番組を行いました。[観覧者数2,086人](市立博物館)	プラネタリウムにおいて、宇宙から見た地球を通して地球環境について解説を行い、大切な地球を考えるきっかけとなりました。四日市公害と環境未来館の開館5周年記念企画展「地球の彩りを宇宙から」にあわせたオリジナル番組「地球が心配～宇宙から地球をヘルスチェック～」の番組を行いました。また、一般番組として、地球を包む大気が起こす美しい現象を体感しながら、いのちの惑星「地球」を見つめなおす「アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語」の番組を行いました。[観覧者数3,396人](市立博物館)	博物館常設展、四日市公害と環境未来館常設展、プラネタリウム「宇宙から見た地球」の見学を通して、私たちの暮らしと環境との関係を四日市から出発し、日本、世界、地球、宇宙に広げて考える「時空街道ツアー-ex」を実施しました。また、地球環境を考えるプラネタリウム番組として、市制123周年記念「アースメッセージ～かけがえのない惑星(ほし)へ～」と夜間特別番組「サイエンスZERO 奇跡の地球」の番組を行いました。[観覧者数1,726人](市立博物館)
	四日市市公式サイト内のかんきょう四日市に随時更新を行っています。(環境保全課)	四日市市公式サイト内のかんきょう四日市に随時更新を行っています。(環境保全課)	四日市市公式サイト内のかんきょう四日市に随時更新を行っています。(環境保全課)
	年に1回環境情報誌「エコピース」を2,500部発行しました。(四日市公害と環境未来館)	年に1回環境情報誌「エコピース」を2,500部発行しました。(四日市公害と環境未来館)	年に1回環境情報誌「エコピース」を2,500部発行しました。(四日市公害と環境未来館)
	四日市公害と環境未来館のイベント案内を中心とした「エコっばニュース」を毎月発行し、来館者などに配布し、地区市民センターなど30箇所に配架しました。またFacebookでイベント案内などの情報発信を行いました。さらに、四日市公害と環境未来館のホームページを整備し、イベント情報が分かりやすいようにしました。また、エコパートナーの紹介ホームページも作成し、環境団体の情報発信を行いました。(四日市公害と環境未来館)	四日市公害と環境未来館のイベント案内を中心とした「エコっばニュース」を毎月発行し、来館者などに配布し、地区市民センターなど30箇所に配架しました。またFacebookでイベント案内などの情報発信を行いました。さらに、四日市公害と環境未来館のホームページを整備し、イベント情報が分かりやすいようにしました。また、エコパートナーの紹介ホームページも作成し、環境団体の情報発信を行いました。(四日市公害と環境未来館)	四日市公害と環境未来館のイベント案内を中心とした「エコっばニュース」を毎月発行し、来館者などに配布し、地区市民センターなど30箇所に配架しました。またFacebookでイベント案内などの情報発信を行いました。さらに、四日市公害と環境未来館のホームページを整備し、イベント情報が分かりやすいようにしました。また、エコパートナーの紹介ホームページも作成し、環境団体の情報発信を行いました。(四日市公害と環境未来館)
・学校教育における環境教育を充実させる。	市内全小学校の5年生、全中学校3年生を対象に、「四日市公害と環境未来館」見学にかかるバス代等の交通費を補助し、公害の歴史や本市の環境改善の取り組みについて学ぶ機会を持ちました。(指導課)	市内全小学校の5年生、全中学校の3年生(一部2年生)を対象に、「四日市公害と環境未来館」見学にかかるバス代等の交通費を補助し、公害の歴史や本市の環境改善の取り組みについて学ぶ機会を持ちました。(新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校2校は未実施)(指導課)	市内全小学校の5年生を対象に、「四日市公害と環境未来館」見学にかかるバス代等の交通費を補助し、公害の歴史や本市の環境改善の取り組みについて学ぶ機会を持ちました。(新型コロナウイルス感染症の影響で、小学校11校はR3実施予定)市内全中学校の3年生(一部2年生)については、新型コロナウイルス感染症の影響のため、「四日市公害と環境未来館」見学の代替学習を行いました。(指導課)
	市内の事業所と協力して、小学生向けの地球温暖化関連教材「こどもよっかいちCO <sub>2</sub> ダイエット作戦」を導入し、市内の小学校4校で実施しました。(環境保全課)	市内の事業所と協力して、小学生向けの地球温暖化関連教材「こどもよっかいちCO <sub>2</sub> ダイエット作戦」を導入し、市内の小学校3校で実施しました。(環境保全課)	市内の事業所と協力して、小学生向けの地球温暖化関連教材「こどもよっかいちCO <sub>2</sub> ダイエット作戦」を導入し、市内の小学校4校で実施しました。(環境保全課)
	四日市公害と環境未来館と連携してプラネタリウムで学習投映(環境学習プログラム)を行いました。[38校](市立博物館)	四日市公害と環境未来館と連携してプラネタリウムで学習投映(環境学習プログラム)を行いました。[31校](市立博物館)	四日市公害と環境未来館と連携してプラネタリウムで学習投映(環境学習プログラム)を行いました。[14校](市立博物館)

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	教職員研修講座において、「四日市公害と環境未来館」主催の6講座を設定し、6回実施しました。(教育支援課)	教職員研修講座において、「四日市公害と環境未来館」主催の6講座を設定し、6回実施しました。(教育支援課)	実施なし(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)。(教育支援課)
	『下水道出前授業』として、小学校4年生向け環境学習の一環として、30年度は8校で実施しました。(上下水道局生活排水課)	『下水道出前授業』を小学校4年生向け環境学習の一環として、令和元年度は7校で実施しました。(上下水道局生活排水課)	『下水道出前授業』を小学校4年生向け環境学習の一環として例年実施していましたが、令和2年度は新型コロナ感染拡大防止のため実施を見送りました。(上下水道局生活排水課)
・家庭、地域、職場における環境教育を支援する。	センター事業の中で「四日市ダンボールコンポスト設置普及事業」、地区社協と共催で「エコ工作教室」等を行いました。(各地区市民センター)	センター事業の中で「四日市ダンボールコンポスト設置普及事業」「エコ工作教室」等を行いました。(各地区市民センター)	—
	地区市民センターで「花と緑いっぱい事業」「川のクリーン作戦」「里山保全事業」「各町一斉清掃」「自然観察会」等を実施しました。(各地区市民センター)	地区市民センターで「花と緑いっぱい事業」「川のクリーン作戦」「里山保全事業」「各町一斉清掃」「自然観察会」等を実施しました。(各地区市民センター)	地区市民センターで「各町一斉清掃」「自然観察会」等を支援しました。(各地区市民センター)
	自然観察会を開催しました。[年10回開催し、うち中止1回、参加者395名](四日市公害と環境未来館)	自然観察会を開催しました。[年10回開催、参加者のべ773名](四日市公害と環境未来館)	自然観察会を開催しました。[年7回開催、参加者のべ641名](四日市公害と環境未来館)
	企業との共催により料理という日常の行動から環境に意識を持っていただく「親子エコ・クッキング」を実施しました。[参加者16名](四日市公害と環境未来館)	企業との共催により料理という日常の行動から環境に意識を持っていただく「親子エコ・クッキングを計画しました。[コロナウイルスのため中止](四日市公害と環境未来館)	企業との共催により料理という日常の行動から環境に意識を持っていただく「親子エコ・クッキングを計画しました。[コロナウイルスのため中止](四日市公害と環境未来館)
	センター事業としてエコ工作教室(貝がらポット教室・ペットボトル万華鏡)を実施しました。(内部地区市民センター)	センター事業としてエコ工作教室(貝がらフォトフレームづくり教室・ラップの芯を利用したレインスティック、CDこまづくり教室)を実施しました。(内部地区市民センター)	—
	センター事業として、四日市公害と環境未来館に講師を依頼し、「環境とものづくり講座」を開催し、マリンリース工作教室を行いました。(小山田地区市民センター)	センター事業として、四日市公害と環境未来館に講師を依頼し、「環境とものづくり講座」を開催し、マリンポット工作教室を行いました。(小山田地区市民センター)	—
	生涯学習事業の中で「ペットボトルロケットを作ろう(作成と飛行・解説の教室)」「かかしづくり講座(作成と展示)」として、リユース・リサイクルに目を向けるきっかけとなる講座を開催しました。(水沢地区市民センター)	生涯学習事業の中で「ペットボトルロケットを作ろう(作成と飛行・解説の教室)」「食を支える刃物と切れ味(包丁研ぎについての講義)」を開催し、リユース・リサイクルに目を向けるきっかけとなる講座を開催しました。(水沢地区市民センター)	—

市の取り組み項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容	各所属の事業実績内容
	環境への意識を高めるため、センター事業として、草花や野菜・ハーブなどの寄植え講座を行いました。(四郷地区市民センター)	環境への意識を高めるため、センター事業として、草花や野菜・ハーブなどの寄植え講座を行いました。(四郷地区市民センター)	環境への意識を高めるため、センター事業として、草花などの寄植え講座を行いました。(四郷地区市民センター)
	市民センター事業として、ホタル、野菜、植物、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>	市民センター事業として、ホタル、野菜、植物、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>	市民センター事業として、野菜、野鳥の各種自然観察会を実施しました。(保々地区市民センター) <実績額:87千円>
	地区市民センターで、「花と緑いっぱい事業」「竹谷川クリーン作戦」「グリーンパーク岡山保全事業」「地区一斉清掃」「自然観察会」等を実施、協力、支援しました。(県地区市民センター)	地区市民センターで、「花と緑いっぱい事業」「竹谷川クリーン作戦」「グリーンパーク岡山保全事業」「地区一斉清掃」「自然観察会」等を実施、協力、支援しました。(県地区市民センター)	—
	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、朝明川の環境保全や生き物観察会を、同推進委員会「里山保全プロジェクト」の事業の中で、貴重な里山や緑の保全事業を実施・支援しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、朝明川の環境保全や生き物観察会を、同推進委員会「里山保全プロジェクト」の事業の中で、貴重な里山や緑の保全事業を実施・支援しました。(大矢知地区市民センター)	まちづくり構想推進委員会「朝明川自然公園化プロジェクト」の事業の中で、朝明川の環境保全や生き物観察会を、同推進委員会「里山保全プロジェクト」の事業の中で、貴重な里山や緑の保全事業を実施・支援しました。(大矢知地区市民センター)
	—	昨年度、地区の歴史や見どころをまとめた「下野マップ」を作製したところですが、資料内に地区にて生息・栽培している動植物を紹介しており、地区内へ配布するほか、小学校での教材に活用するなどして環境に対する関心の向上を図りました。(下野地区市民センター)	昨年度、地区の歴史や見どころをまとめた「下野マップ」を作製したところですが、資料内に地区にて生息・栽培している動植物を紹介しており、地区内へ配布するほか、小学校での教材に活用するなどして環境に対する関心の向上を図りました。(下野地区市民センター)
・エコパートナー等との協働やエコパートナーの活動・連携支援を通して、環境に詳しい人材を育成する。	①地域の環境保全活動を担う人材育成を目的に「エコカレッジ」講座を実施しました。[全4回講座、修了者6名] ②環境教育を実践する人材育成を目的に、環境学習指導員養成講座を実施しました。[全4回講座、参加者70名] ③教育委員会と連携し教職員を対象とした「環境に関する教職員研修」実施しました。[全6回実施、参加者189名] ④「四日市公害と環境未来館」解説員養成講座を開催しました。[参加者3名](四日市公害と環境未来館)	①地域の環境保全活動を担う人材育成を目的に「エコカレッジ」講座を実施しました。[全4回講座修了者1名] ②環境教育を実践する人材育成を目的に、環境学習指導員養成講座を実施しました。[全2回講座参加者51名] ③教育委員会と連携し、教職員を対象とした「教職員の公害研修」を実施しました。[年6回開催参加者158名]④四日市公害と環境未来館解説員養成講座を開催しました。[講座参加人数8名](四日市公害と環境未来館)	①地域の環境保全活動を担う人材育成を目的に「エコカレッジ」講座を実施しました。[全4回講22名] ②環境教育を実践する人材育成を目的に、環境学習指導員養成講座を実施しました。[全1回講座参加者17名] ③教育委員会と連携し、教職員を対象とした「教職員の公害研修」はコロナ禍により中止をしました。 ④四日市公害と環境未来館解説員養成講座を開催しました。[講座参加人数7名](四日市公害と環境未来館)